

新かすがい男女共同参画プラン実施状況報告書

—平成 26 年度事業実績・平成 27 年度事業予定—

春 日 井 市

目 次

ページ

| | | |
|---|--|----|
| 1 | 「新かすがい男女共同参画プラン」の概要 | 1 |
| 2 | 「新かすがい男女共同参画プラン」の体系 | 2 |
| 3 | 平成25年度事業実績・平成26年度事業予定 | |
| | 目標Ⅰ 男女共同参画社会に向けた意識づくり | |
| | 課題1 男女共同参画に関する意識の普及と定着 | 5 |
| | 課題2 男女平等の視点に立った教育・学習の推進 | 9 |
| | 課題3 メディアにおける男女の人権の尊重 | 18 |
| | 目標Ⅱ あらゆる分野へ男女が共に参画できる基盤づくり | |
| | 課題1 政策・方針決定過程への女性の参画の推進 | 19 |
| | 課題2 就業における男女共同参画の促進 | 23 |
| | 課題3 地域における男女共同参画の促進 | 28 |
| | 課題4 さまざまな困難を抱える男女への支援 | 36 |
| | 目標Ⅲ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）実現に向けた環境づくり | |
| | 課題1 ワーク・ライフ・バランスの推進 | 44 |
| | 課題2 家庭生活・地域生活における男性の参画推進 | 46 |
| | 課題3 子どもを育てる社会環境の整備 | 48 |
| | 課題4 介護を支える社会環境の整備 | 55 |
| | 目標Ⅳ 男女の性の理解と心身の健康のための環境づくり | |
| | 課題1 男女が互いの性を理解し、尊重する環境づくり | 59 |
| | 課題2 ライフステージに応じた健康づくり | 60 |
| | 目標Ⅴ あらゆる暴力を根絶する社会づくり（春日井市DV対策基本計画実施状況報告書 参照） | |
| | 課題1 男女間における暴力の根絶 | |
| | 課題2 DVのある家庭に育つ子どもへの支援 | |

1 「新かすがい男女共同参画プラン」の概要

(1) 計画の基本目標

『男女共同参画社会の実現』

(2) 計画の基本理念

男女が互いにその人権を尊重しつつ責任を分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現をめざし、平成15年4月に制定した春日井市男女共同参画推進条例第3条に基づき、次に掲げる事項を基本理念とします。

- ① 男女の人権の尊重
- ② 社会における制度又は慣行が及ぼす影響への配慮
- ③ 施策等の立案及び決定への共同参画機会の確保
- ④ 家庭生活における活動と他の活動の両立
- ⑤ 国際的協調

(3) 計画の性格

- ① 条例第9条に基づく男女共同参画基本計画であり、男女共同参画社会基本法第14条に規定される市町村男女共同参画基本計画にあたります。
- ② 春日井市男女共同参画審議会の提言や市民意識調査の結果を反映しています。
- ③ 広く市民の意見を反映するため市民意見公募(パブリックコメント)を実施しています。(平成23年12月)
- ④ 春日井市新長期ビジョン(第五次総合計画)を上位計画とし、他の関連する計画との整合を図っています。
- ⑤ 国の第3次男女共同参画基本計画、県のあいち男女共同参画プラン2011-2015に配慮しています。

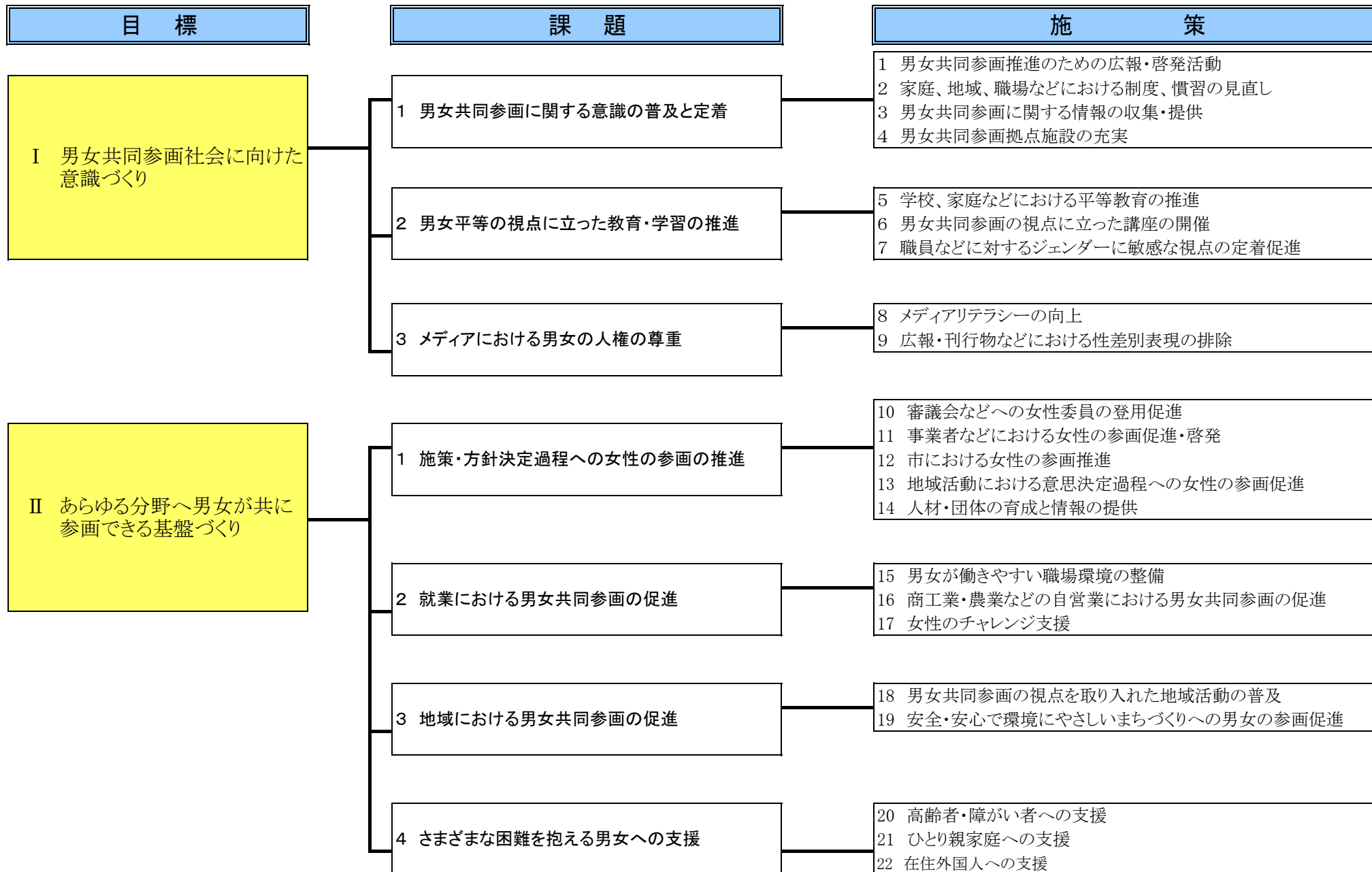
(4) 計画の期間

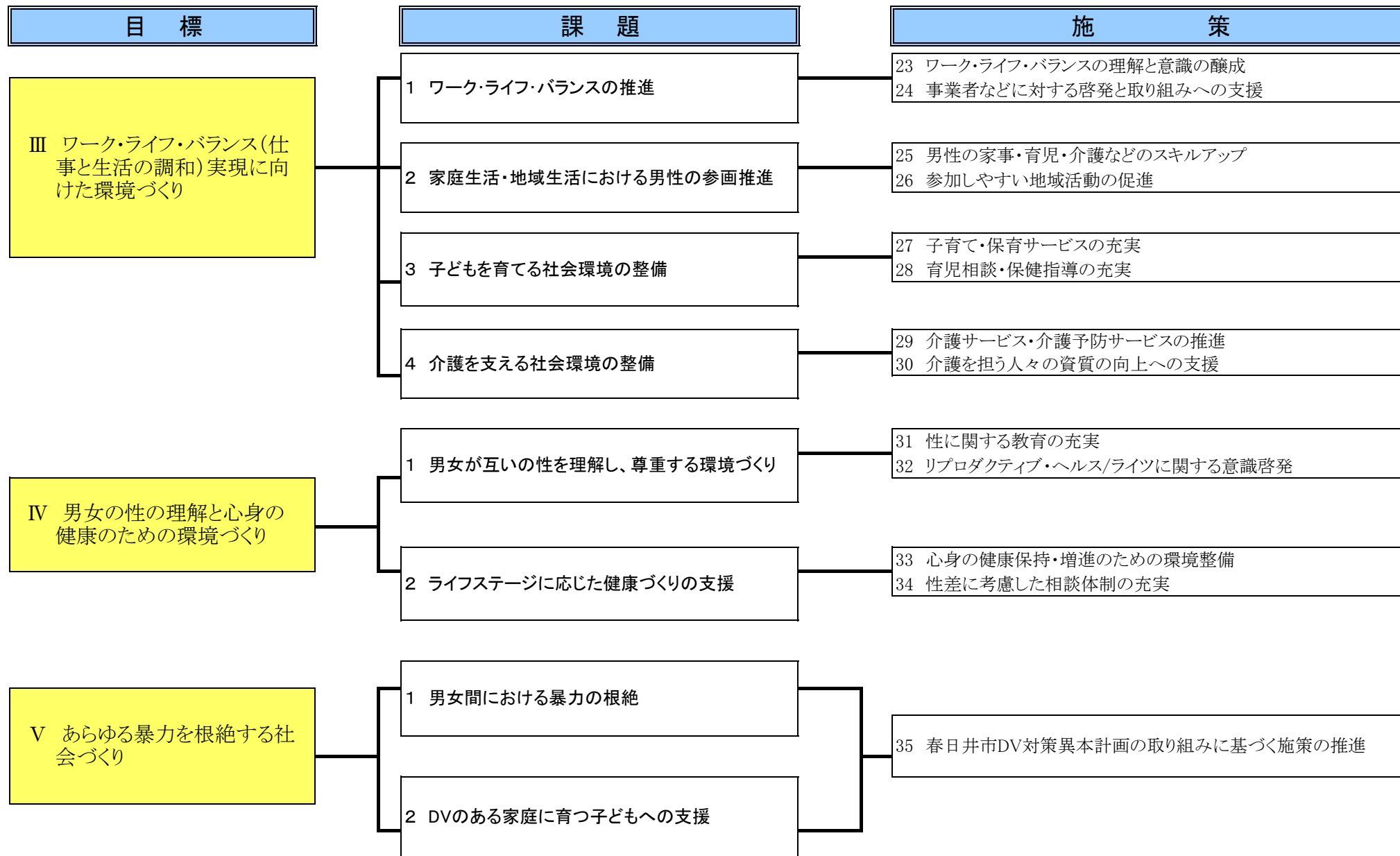
計画の期間は、平成33年度(2021年度)までの10年間です。

(5) 調査の実施

策定にあたっては、平成22年度に20～69歳の市民と市内の中学2年生、高校2年生を対象にした市民意識調査を実施したほか、関連施策について関係課の事業調査を行いました。

2 「新かすがい男女共同参画プラン」の体系





平成 26 年度事業実績・平成 27 年度事業予定

【男女共同参画の視点】

- A : 事業の企画・運営にあたり、職員間で男女それぞれの参画を図った
- B : 男女それぞれに対し、協議あるいは意見を聞く機会を設けた
- C : 事業の対象者やその現状を男女別に把握した
- D : 男女それぞれが利用・参画しやすいよう配慮した
- E : 男女の固定的な役割分担にとらわれない内容の事業を実施した

【事業に対する自己評価】

- A : 実施することができた
- B : 実施に向け検討した
- C : 実施できなかった

目標Ⅰ 男女共同参画社会に向けた意識づくり

課題1 男女共同参画に関する意識の普及と定着

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|-----------------------|------------------------|---|--|-----------------|------|-----------------|---------|
| 1 男女共同参画推進のための広報・啓発活動 | ①市民・事業者などに向けた広報・啓発 | 男女共同参画社会の実現に向けて、男女共同参画に関するさまざまな情報提供と意識づくりを図った。 | <ul style="list-style-type: none"> ・広報による啓発（98,500部発行） ・男女共同参画に関するチラシを情報コーナーで配布 ・ケーブルテレビの活用による啓発 | D・E | B | 事業継続 | 広報広聴課 |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画情報紙「はるか」の発行 形態:A4版、4ページ、2色刷り 発行部数:各13,500部 発行回数:年2回 ・男女共同参画推進月間の周知 広報春日井11月1日号 パネル展示(市内公共施設、レディヤン) ・ささえ愛センターまつりでのパネル展示 4月20日(日) | A・D E | A | 事業継続 | 男女共同参画課 |
| | ②女性の人権に関する国内法令・国際条約の周知 | 国や県から送られてきた各種人権等に関する啓発資料を市内公共施設にて掲示・配布した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・外国語によるDV防止啓発パンフレット及び啓発カードの窓口配布 (英語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国語、タガログ語、タイ語、日本語) ・「人身取引対策」「女性に対する暴力をなくす運動」のポスター掲示及びリーフレットの配布 | D・E | A | 事業継続 | 男女共同参画課 |
| | ③市民活動団体との協働による意識啓発事業 | 男女共同参画社会の実現をめざした意識啓発を目的に市民、社会活動団体、企業、市が共に考える機会として、市民フォーラムを開催した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・第13回かすがい男女共同参画市民フォーラム 開催日:平成27年1月25日(日) 場 所:レディヤンかすがい テーマ:「オトコの介護 ～妻と親の介護、いざ! その時あわてないために～」 参加者:250名 | A・B C・D E | A | 事業継続 | 男女共同参画課 |

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|---------------------------|-----------------------|---|---|-----------|------|-----------------------------|---------|
| 2 家庭、地域、職場などにおける制度、慣習の見直し | ①啓発資料等の作成・提供 | ジェンダーに敏感な意識の醸成のため、啓発資材や情報提供を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画情報紙「はるか」の発行 I-1-1-①参照 ・広報春日井11月1日号に男女共同参画啓発記事の掲載 ・ジェンダーかるた、ジェンダー紙芝居の貸出 ・国や他市が発行する男女共同参画情報紙の設置 | A・D E | A | 事業継続 | 男女共同参画課 |
| | ②事業者における男女共同参画推進状況の把握 | | 実施なし | | B | 事業者を対象に男女共同参画に関するアンケートを実施予定 | 男女共同参画課 |
| | | | 実施なし | | C | 予定なし | 経済振興課 |
| | ③出前講座の活用 | 市の行政、施策について、情報提供を図り、市政に対する理解と関心を深め、市民参画の推進と開かれた市政の実現を目指し、職員が出向いて話をする「生涯学習まちづくり出前講座」を実施した。 | 【実施状況】 開催数 10回 受講者 438名 | E | A | 事業継続 | 生涯学習課 |
| 3 男女共同参画に関する情報の収集・提供 | ①男女共同参画意識調査などの実施 | | 実施なし | | C | 予定なし | 男女共同参画課 |
| | ②ホームページの充実 | 市民が男女共同参画への理解を、より一層深めるよう市のホームページを活用して情報提供に努めた。 | 男女共同参画課作成のページの更新情報や、「はるか」の発行などを市ホームページの新着情報等に掲載し、市民へのわかりやすい情報提供を心がけた。 | E | B | 事業継続 | 広報広聴課 |

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|----------------------|------------------------|---|---|-----------------|------|-----------------|---------|
| 3 男女共同参画に関する情報の収集・提供 | ②ホームページの充実 | 市民が男女共同参画への理解を、より一層深めるよう市のホームページを活用して情報提供に努めた。 | <ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画課の講座、イベント情報 男女共同参画情報紙「はるか」 春日井市男女共同参画推進条例、男女共同参画プラン、DV対策基本計画、市民意識調査報告書、女性の登用状況等を掲載 | C・D E | A | 事業継続 | 男女共同参画課 |
| 4 男女共同参画拠点施設の充実 | ①男女共同参画に関する啓発・学習の全市的展開 | 市の男女共同参画を推進する拠点として設置された青少年女性センターで、男女共同参画に関する情報提供や講座、イベントの開催、相談などを行った。 | <ul style="list-style-type: none"> 女性に関する図書の収集 2,897冊 講座の開催 18講座52回 335名(延べ 901名) 男女共同参画セミナーの開催 5講座7回 265名 レディヤン祭の開催 12月13日(土) ジェンダー紙芝居の読み聞かせ 各種相談の実施 DV相談、女性の悩み相談、女性のための法律相談 | A・B C・D E | A | 事業継続 | 男女共同参画課 |
| | ②男女共同参画に関する資料の収集・提供 | 国・県及び他市などが発行する男女共同参画関連の資料や女性問題に関する資料を収集した。併せて、他市町村の男女共同参画に関する計画(プラン)、男女共同参画情報紙などを収集し、男女共同参画課窓口及び青少年女性センターにおいて、情報提供した。 | <ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画週間(内閣府 6月) 青少年女性センター、市役所市民ホールに啓発ポスターを設置した。 月刊総合情報誌「共同参画」の図書館での設置依頼 【研修等による情報収集】 市町男女共同参画推進連絡会議 5月27日(火) 愛知県三の丸庁舎 市町村男女共同参画行政担当初任者研修会 5月30日(金) 愛知県自治センター 市町村男女共同参画行政主管課長会議 8月1日(金) 愛知県自治研修所 【他相談窓口の情報提供】 愛知県「女性の悩みごと相談」 愛知男女共同参画財団「DV専門電話相談」 ウィルあいち「相談コーナー」 | D・E | A | 事業継続 | 男女共同参画課 |

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|-----------------|------------|--|---|-----------|------|-----------------|---------|
| 4 男女共同参画拠点施設の充実 | ③女性相談窓口の充実 | 相談員の資質向上のため、県の相談員研修に参加した。また、スーパーバイザーによる相談員研修を実施した。 | 【スーパービジョンの実施】 日時 平成27年2月18日(水) テーマ 「フェミニストセラピーの視点に立った相談とは」 講師 具ゆり氏(ウィメンズカウンセリング名古屋YWCA) 【相談事業】 ・女性の悩み相談 相談件数 481件 ・女性のための法律相談 相談件数 116件 【連絡会議等】 ・「女性の悩み相談」等相談員研修 日時 5月21日(水)、8月20日(水)、11月19日(水) 【参加した研修等】 ・市町村女性問題相談員実務研修始め11回 | E | A | 事業継続 | 男女共同参画課 |
| | ④男性相談窓口の開設 | | 実施なし | | B | 特になし | 男女共同参画課 |

課題2 男女平等の視点に立った教育・学習の推進

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|----------------------|-----------------------|---|--|------------|------|--|---------|
| 5 学校、家庭などにおける平等教育の推進 | ①人権尊重に関する意識の啓発 | 子どもの人権意識を啓発するための「人権教室」を実施した。 | 【実施状況】 ・出川保育園 年長58名 実施日 6月6日(金) ・第一保育園 年長43名 実施日 6月20日(金) ・牛山幼稚園 全園児181名 実施日 6月24日(火) ・鳥居松小学校 4年生58名 実施日 11月4日(火) ・神領小学校 4年生94名 実施日 11月14日(金) ・西尾小学校 4～6年生33名 実施日 11月21日(金) | A・D E | A | 事業継続 | 市民活動推進課 |
| | ②ジェンダーに敏感な視点に立った教育の推進 | 教育活動全般を通じて人権尊重と男女平等意識に立った教育を進めるとともに、児童・生徒が自主的に学び、考え、行動する姿勢を育む学校教育を推進した。 | ・学校における男女平等教育を、各教科、道徳、特別活動、各種行事の中で推進した。 ・学校外の体験活動等においても、固定的な役割分担にとらわれないように分担し実践した。 ・中学校家庭科における保育実習には男女とも参加し、固定的役割分担意識の解消につながるよう保育実習を行った。 ・人権教育の実施状況調査を行った。 男女混合名簿導入校 ・小学校38校中 38校 ・中学校15校中 15校 | A・D E | B | ・教職員や各種指導者等に対する研修の充実 ・小学校、中学校の教育の中でジェンダーや固定的な性別役割分担意識を無意識のうちに伝達していないかを点検し、人権教育の進め方についてさらに見直しを行う予定 ・男女混合名簿のさらなる活用推進を図る。 | 学校教育課 |
| | ③親子生涯学習講座の開催 | さまざまな家族が集い、ふれあい、共同体験をすることにより、男女がいきいきとした家庭生活を営むよう、学習機会を提供した。 | ・親子で楽しむ科学教室 実施日 7月26日(土) 受講者 20組40名(母親12名、父親8名 女児10名、男児10名) ・パパと一緒に料理に挑戦！ 実施日 7月27日(日)、8月3日(日) 受講者 5組10名(父親5名、女児5名) 延べ10組20名 ・家族ふれあい教室 実施日 8月9日～8月23日(3回・日) 受講者 11組22名(母親10名、父親1名、 女児6名、男児5名)延べ29組58名 | A・C D・E | A | 事業継続 | 男女共同参画課 |

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|----------------------|--------------|---|---|-----------|------|-----------------|----------|
| 5 学校、家庭などにおける平等教育の推進 | ③親子生涯学習講座の開催 | さまざまな家族が集い、ふれあい、共同体験をすることにより、男女がいきいきとした家庭生活を営むよう、学習機会を提供した。 | <p>・短期講座「夏休み親子で簡単クッキング」 実施日 8月24日(日) 受講者 16組37名(母親16名、父親1名 女兒18名、男児2名)</p> <p>・ニュータウンきずな事業 「どんぐりキッズ公民館」 実施日 8月16日(土) 内 容 ステージでアイドルの体験をしよう、 ホール裏側探検隊、ねこは友だち〜もっと知りたいねこのこと〜、 トリック絵づくり、消防ひろば(グラッキー)こどもミニはくぶつかん、 チャレンジ体力チェック! 参加者 延べ707名(女性保護者251名 男性保護者67名、女兒231名 男児158名)</p> | C・E | A | 事業継続 | 東部市民センター |
| | | | <p>「ふれあいセミナー」に対して補助金を交付した。 小中学校幼稚園に通う子とその保護者等が家庭教育の意義と役割を学び、社会性や思いやりの心など豊かな人間性を育む。 ・67セミナー(幼稚園12園、私立保育園2園 小中学校53校) ・親子で参加できる講座を公民館で実施した。 楽しく親子でリトミック1,456名 親子ふれあい体操 372名</p> | E | A | 事業継続 | 生涯学習課 |

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|----------------------|--------------|---|--|------------|------|-----------------|------------|
| 5 学校、家庭などにおける平等教育の推進 | ③親子生涯学習講座の開催 | さまざまな家族が集い、ふれあい、共同体験をすることにより、男女がいきいきとした家庭生活を営むよう、学習機会を提供した。 | 【短期講座】 講座名 親子で楽しく夏のお野菜トッピングパン作り 実施日 8月8日(金) 参加者 12組24名(女性12名、男児3名、 女児9名) 【子ども人形劇】 協力 人形劇団とんとん 実施日 11月22日(土) 参加者 63名(女性15名、男性3名、 女児25名、男児20名) | A・C D・E | A | 事業継続 | 坂下公民館 |
| | | | ・親子で体操ゲーム 【前期】 実施日 5月7日～8月20日 (全8回・水) 受講者 21組42名 (女性21名、女児7名、男児14名) 【後期】 実施日10月1日～1月21日 (全8回・水) 受講者 40組80名 (女性40名、女児16名、男児24名) ・夏休み親子でパン作り教室実施日 実施日 7月26日(土) 受講者 12組26名(女性12名、女児12名、 男児2名) | A・C D・E | A | 事業継続 | 鷹来公民館 |
| | | | ・親子ふれあい体操 実施日 5月14日～8月27日(全8回・水) 受講者 34組延べ372名(女性33名、 男性1名、女児19名、男児15名) | A・C D・E | A | 事業継続 | 知多公民館 |
| | | | ・楽しく親子でリミック 実施日 6月20日(金)～年16回 受講者 延べ1,456名(女性720名、 女児428名、男児308名) | A・C D・E | A | 事業継続 | 中央公民館 |
| | | | ・親子で学ぶシェフの技 実施日 8月27日(水) 対象者 市内小学校4・5・6年生の 子どもとその保護者 受講者 8組(女性7名、男性1名、 女児4名、男児4名) | A・C D・E | A | 事業継続 | 味美ふれあいセンター |

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|----------------------|--------------|---|---|------------|------|-----------------|-------------|
| 5 学校、家庭などにおける平等教育の推進 | ③親子生涯学習講座の開催 | さまざまな家族が集い、ふれあい、共同体験をすることにより、男女がいきいきとした家庭生活を営むよう、学習機会を提供した。 | <ul style="list-style-type: none"> 夏休み親子でふれあい工作教室 段ボールでテーブルの上で楽しめるパターゴルフ場を作る 実施日 8月5日(火) 受講者 12組30名(女性12名、女兒8名、男児10名) | A・C D・E | A | 事業継続 | 高蔵寺ふれあいセンター |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ふれあい親子体操(年4回講座) 【前期】実施日5月9日～6月27日(8回・金) 受講者84名(女性60名、男性24名) 【後期】実施日10月3日～11月21日(8回・金) 受講者117名(女性89名、男性28名) 親子体験手打ちうどん作り 実施日 8月6日(水) 受講者 28名(女性23名、男性5名) 手ごねで作る手作りピザ 実施日 8月27日(水) 受講者 25名(女性19名、男性6名) | A・C D・E | A | 事業継続 | 南部ふれあいセンター |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> 前期市民講座「親子で楽しくリミック！」 実施日 5月14日～6月18日(6回・水) 参加者 37組74名(女性37名 女児18名、男児19名) 後期市民講座「親子で楽しくリミック！」 実施日 10月8日～11月12日(6回・水) 参加者 25組50名(女性25名 女児13名、男児12名) 短期講座「親子で楽しく学ぶ茶道教室」 実施日 1月10日(土) 参加者 6組12名(女性6名、女児6名) | A・C D・E | A | 事業継続 | 西部ふれあいセンター |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> 親子教室 ふれあい広場 実施日 毎週木曜日 参加者 3,896名(自由参加)(全33回) 0歳児親子(11回) 1歳児親子(11回) 2歳児・3歳児親子(11回) | D | A | ・事業継続 | 子育て子育て総合支援館 |

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|----------------------|--------------|--|--|------------|------|-----------------|----------|
| 5 学校、家庭などにおける平等教育の推進 | ③親子生涯学習講座の開催 | さまざまな家族が集い、ふれあい、共同体験をすることにより、男女がいきいきとした家庭生活を営むよう、学習機会を提供した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・初夏のファミリーキャンプ(テント泊) 実施日 5月10日(土)～11日(日) 参加者 44名(女性10名、男性12名 女児10名、男児12名) ・冬のファミリーキャンプ(宿泊棟泊) 実施日 12月6日(土)～7日(日) 参加者 43名(女性11名、男性10名 女児13名、男児9名) | A・C D・E | A | 事業継続 | 野外教育センター |
| | ④キャリア教育の推進 | 男女の固定的観念に捉われないこと、一人ひとりの能力と適正に応じた進路を主体的に選択できるように進路指導を実施し、健全な職業観の育成に努めた。 | <p>【個性に応じた進路指導の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりの適性などを配慮した中学校の進路指導を実施 ・職種について、男女の固定概念にとらわれないように指導し、中学校の職場体験学習を実施 <p>【職場体験学習の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の職場体験を充実させる(各学校の実情に応じて実施)。 ・生徒の希望を取り入れ、業種や地域の枠を広げた体験事業所の選定を行った。(体験事業所など) ・体験後のまとめの学習について、工夫が見られた。(実施校:15校) | D・E | A | 事業継続 | 学校教育課 |

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|----------------------|---------------------------|---|--|------------|------|-----------------|----------|
| 6 男女共同参画の視点に立った講座の開催 | ①ジェンダーに敏感な視点を取り入れた講座などの開催 | ジェンダーに縛られず、多様な生き方が選択できるような生涯学習の講座を開催した。 | <p>【レディヤン講座】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どものほめ方、叱り方のコツ 実施日 6月13日～6月27日(3回・金) 受講者数 20名(女性20名)(延べ51名) (託児 女児9名 男児7名) ・心理学で女子力UP～内面を磨いて魅力的な女性へ～ 実施日 9月20日～10月11日(4回・土) 受講者 26名(女性26名)(延べ85名) (託児 女児5名 男児1名) ・採用されるには理由がある！～就職支援セミナー～ 実施日 10月15・22日(2回・水) 受講者 8名(女性8名)(延べ14名) (託児 女児1名 男児3名) ・フラワーセラピー 実施日 11月8日(土) 受講者 20名(女性20名) (託児 女児1名 男児1名) ・仕事に役立つ心理学 実施日 10月17・24日(2回・金) 受講者 19名(女性17名、男性2名) 延べ32名 (託児 女児1名 男児2名) ・男の料理～基礎を習う～ 実施日 12月7日～12月21日(3回・日) 受講者 24名(男性24名)(延べ69名) | A・C D・E | A | 事業継続 | 男女共同参画課 |
| | | | 実績なし | | C | 未定 | 東部市民センター |
| | | | ・各公民館で市民講座、短期講座を実施 | D・E | A | 事業継続 | 生涯学習課 |

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|----------------------|---------------------------|---|--|------------|------|-----------------|-------------|
| 6 男女共同参画の視点に立った講座の開催 | ①ジェンダーに敏感な視点を取り入れた講座などの開催 | ジェンダーに縛られず、多様な生き方が選択できるような生涯学習の講座を開催した。 | 【市民講座】 ・パソコン活用講座 実施日 5月8日～6月26日(8回・木) 受講者 16名(女性5名、男性11名) ・パソコン活用講座 実施日 10月2日～11月20日(8回・木) 受講者 16名(女性8名、男性8名) ・楽しいマジック 実施日 10月14日～1月27日(8回・火) 受講者 20名(女性7名、男性13名) 【短期講座】 ・タブレット端末入門講座 実施日 9月2日～23日(4回・火) 受講者 10名(女性6名、男性4名) ・タブレット端末入門講座 実施日 2月1日～22日(4回・日) 受講者 10名(女性9名、男性1名) 【高齢者学級】 ・源敬教室 実施日 5月～平成27年3月(11回・金) 受講者 48名(女性31名、男性17名) | A・C D・E | A | 事業継続 | 坂下公民館 |
| | | | ・「夏休み子ども工作教室～楽しいボトルシップ作り」 実施日 7月29日(火)、30日(水)(2回) 受講者 19名(延べ36名 女児4名、男児15名) ・バレンタインのチョコケーキ作り 実施日 平成27年2月11日(祝・水) 受講者 24名(女児24名) | A・C D・E | A | 事業継続 | 鷹来公民館 |
| | | | ・緑のカーテン講座 実施日 5月9日(金) 受講者 21名(女性16名、男性5名) | A・C E | A | 事業継続 | 高蔵寺ふれあいセンター |
| | | | ・短期講座「おやじの料理講座」 実施日 11月27日(木)、12月11日(木) 受講者 15名(男性15名) | A・E | A | 事業継続 | 西部ふれあいセンター |

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|----------------------------|----------------|--|--|-----------|------|-----------------|---------|
| 6 男女共同参画の視点に立った講座の開催 | ②男女共同参画セミナーの開催 | 男女が多様な能力を開発、発揮し、社会のあらゆる分野へ参画できるよう講座を開催した。 | <p>男女共同参画セミナー (学校向け)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子どもの気持ちかわかる会話術」 実施日 6月19日(木) 受講者 市PTA連絡協議会母親委員会 120名(女性120名) <p>(一般向け)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「心も体も笑顔になる～笑い体操～」 実施日 9月4日、18日、25日(3回、木) 受講者 一般市民 39名(女性39名) 託児数 3名(延べ6名) ・「体のバランスを整えて前向きな明日に～女性の健康管理～」 実施日 11月8日(土) 受講者 一般市民 28名(女性28名) 託児数 6名 ・「モノの整理はココロの整理～暮らしスッキリ収納術～」 実施日 平成27年2月14日(土) 受講者 一般市民 43名(女性43名) 託児数 8名 ・「育兒・介護する社員も力を発揮できる職場に～ワーク・ライフ・バランスを考える～」 実施日 平成27年2月17日(火) 受講者 一般市民など 35名 (女性18名、男性17名) 託児数 1名 | C・E | A | 事業継続 | 男女共同参画課 |
| 7 職員などに対するジェンダーに敏感な視点の定着促進 | ①教職員への研修の実施 | 児童・生徒一人ひとりの個性を尊重し、固定的な性別役割分担意識を植えつけないよう、研修を実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・初任者研修における社会体験型研修(保育園研修の実施) ・市非常勤講師に対する研修 ・市内小中学校2年経験教諭に対する研修 | B・E | A | 事業継続 | 学校教育課 |
| | ②保育士への研修の実施 | 子どもや女性一人ひとりの個性を尊重し、DVやセクシュアルハラスメントなどを許さない社会環境づくりに向け、保育士の意識啓発を推進した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・園児の保護者に市男女共同参画課で作成したDV啓発カードを配布した。 | E | A | 事業継続 | 保育課 |

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|----------------------------|------------|--|---|-----------|------|---------------------|------------------|
| 7 職員などに対するジェンダーに敏感な視点の定着促進 | ③職員への研修の充実 | 市職員が男女共同参画の視点に立って事業に取り組むことができるよう研修を実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> 第1部新規採用職員後期研修 日 時 11月27日(2時間) 講 師 男女共同参画課職員 受講者 78名 第3部3級職員前期研修 日 時 9月26日(2時間) 講 師 男女共同参画課職員 受講者 56名 第4部新任主査職研修 日 時 6月20日(2時間) 講 師 大学教授 受講者 48名(事務職のみ) 第4部新任課長補佐職研修 日 時 6月20日(2時間) 講 師 大学教授 受講者 23名(事務職のみ) | A・C E | A | 事業継続 | 人事課 |
| | | | <p>【研修等への参加】</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性関係施設連絡会議 実施日 6月3日(火)大府市 6部研修(職場内研修)の実施 社会教育事業連絡調整会議(月1回) <p>【職員研修の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新任課長補佐職・主査職研修 6月20日(金)受講者85名 3級職員研修 9月26日(金)受講者57名 新規採用職員研修 11月27日(木)受講者78名 | A・C E | A | 事業継続 | 男女共同参画課 |
| | | | 実績なし | | C | 講座を企画する職員の資質向上に努める。 | 東部市民センター |
| | | | 6部研修(職場内研修)の実施 | A・B E | A | | 各公民館 ふれあいセンター |

課題3 メディアにおける男女の人権の尊重

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|------------------------|--------------------------------------|--|--|-----------|------|---|---------|
| 8 メディアリテラシーの向上 | ①メディアリテラシー向上への啓発・研修 | | 実施なし | | C | メディアリテラシーに関する講座を開催予定 | 男女共同参画課 |
| | ②教育現場におけるメディアリテラシー教育の実施 | 青少年が安全に安心してインターネットを利用できるよう、インターネット上におけるコミュニケーションマナーやルール、情報発信の責任等について学ぶ講座を実施した。 | 実施数:41件(小学校18件、中学校23件) | D・E | A | 事業継続 | 子ども政策課 |
| | | 様々なメディアからの情報に対し、主体的に収集・判断し、適切に発信する能力を育成する教育を推進した。 | [小中学校の情報教育の充実] 小中学校の授業において、コンピュータ等を用いて、情報活用能力の育成に努めた。(市内全小中学校で実施) [情報モラル講座] 各校の実情に応じて、児童生徒、保護者を対象として、様々なメディアからの情報の扱い方などの講座の実施を推進した。 | D・E | A | 事業継続 | 学校教育課 |
| 9 広報・刊行物などにおける性差別表現の排除 | ①広報など行政情報紙の点検・見直し ・職員研修マニュアルの更新など | 人権尊重の視点に立った情報発信が行われるよう、市から発信する情報から性差別表現を排除するよう取り組みを強化した。 | 内閣府男女共同参画局作成の「男女共同参画の視点からの公的広報の手引」(平成15年3月)をもとに、表現が男女いずれかに偏っていないか、性別によってイメージを固定化していないかなど、男女対等な視点で、広報紙などにおける具体的表現やイラスト・写真での描写を見直し・点検した。 | D | A | ・事業継続 ・男女共同参画に関する意識づくり徹底のため、6部研修などにより資質の向上を図る。 | 広報広聴課 |
| | | 表現の例、記入例などを掲載した「男女共同参画」職員研修マニュアルを活用し、周知した。 | ・第3部3級職員前期研修 実施日 9月26日(金) 受講者 57名 | D・E | A | 事業継続 | 男女共同参画課 |
| | ②性差別表現をなくすための啓発 | 表現の例、記入例などを掲載した「男女共同参画」職員研修マニュアルを活用し、周知した。 | ・第3部3級職員前期研修 実施日 9月26日(金) 受講者 57名 | D・E | A | 事業継続 | 男女共同参画課 |

目標Ⅱ あらゆる分野へ男女が共に参画できる基盤づくり

課題1 政策・方針決定過程への女性の参画の推進

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|------------------------|-----------------|---|--|-----------|------|---|---------|
| 10 審議会などへの女性委員の登用推進 | ①審議会への女性委員登用推進 | 審議会などへの女性登用比率を30%とする目標を着実に達成するため、「女性委員登用促進要綱」に基づき、審議会等委員への女性登用について事前協議を行った。 | 【各種審議会等における女性の登用状況】 (平成26年4月1日現在) 法令・条例に基づく審議会等の数 28 女性委員ゼロ審議会等の数 1 総委員数(人) 366 女性委員数(人) 93 女性登用率(%) 25.4 【事前協議件数】 21件 | C | A | ・事業継続 ・各種審議会等における女性の登用状況 (平成27年4月1日現在) 法令・条例に基づく審議会等の数 27 女性委員ゼロ審議会等の数 2 総委員数(人) 355 女性委員数(人) 93 女性登用率(%) 26.2 | 男女共同参画課 |
| | ②人材リストの充実 | 女性の人材情報を収集・整理し、人材リストへの登録及び人材情報の提供に努めた。 | 女性の人材情報を収集・整理し、人材リストへの登録及び人材情報の提供に努めた。 | C | A | 事業継続 | 男女共同参画課 |
| 11 事業者などにおける女性の参画促進・啓発 | ①事業者などへの女性登用の促進 | 事業者や各種団体において、女性の能力が正しく評価され、方針決定過程への女性登用が進められるよう、働きかけを行う。 | 愛知県や21世紀職業財団、あいち男女共同参画財団が作成したパンフレットを窓口に設置した。 | D | A | 事業継続 | 男女共同参画課 |

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------|--------------------------|--|--|-----------|------|-----------------------|---------|----|----|----|---|------|-----|---|----|----|------|-----|---|----|----|------|-----|---|-----|-----|------|----|----|-----|-----|------|-----|----|-----|-----|-------|----|----|-----|-----|-------|----|-----|-----|-----|-------|--|----|----|----|---|------|-----|---|----|----|------|-----|---|----|----|------|-----|---|-----|-----|------|----|----|-----|-----|------|-----|----|-----|-----|-------|----|----|-----|
| 11 事業者などにおける女性の参画促進・啓発 | ①事業者などへの女性登用の促進 | | 実施なし | | C | 予定なし | 経済振興課 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ②職業能力の開発・向上・研修会等派遣への助成など | 中小企業の人材を育成するため、経営者や従業員を研修に受講させた場合に助成した。 | 次の研修を受講したものに対し、助成を行った。 ①独立行政法人中小企業基盤整備機構中部本部人材支援部の実施する中小企業者研修 ②中部職業能力開発促進センターの能力開発セミナー ③国、県等の公的機関が実施する研修 ④商工会議所又は商工会が実施する研修 【実績】 ・助成件数 107件 ・受講者 188名 ・助成額 1,510,000円 | E | A | 事業継続 | 企業活動支援課 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12 市における女性の参画推進 | ①女性職員の管理職への登用促進 | 職員の職域の拡大及び能力発揮に向けた取り組みを進めることなどにより、管理職への女性職員の登用を推進した。 | 指導的立場にある女性職員(一般行政職)の登用状況(平成26年4月1日現在) | C | A | 事業継続 (平成27年4月1日現在) | 人事課 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>女性</th> <th>男性</th> <th>計</th> <th>女性比率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>部長級</td> <td>0</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>課長級</td> <td>3</td> <td>76</td> <td>79</td> <td>3.8%</td> </tr> <tr> <td>補佐級</td> <td>7</td> <td>119</td> <td>126</td> <td>5.6%</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>10</td> <td>213</td> <td>223</td> <td>4.5%</td> </tr> <tr> <td>主査級</td> <td>44</td> <td>173</td> <td>217</td> <td>20.3%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>54</td> <td>386</td> <td>440</td> <td>12.3%</td> </tr> <tr> <td>職員</td> <td>185</td> <td>673</td> <td>858</td> <td>21.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※女性比率は小数点第2位を四捨五入</p> | | | | | 区分 | 女性 | 男性 | 計 | 女性比率 | 部長級 | 0 | 18 | 18 | 0.0% | 課長級 | 3 | 76 | 79 | 3.8% | 補佐級 | 7 | 119 | 126 | 5.6% | 小計 | 10 | 213 | 223 | 4.5% | 主査級 | 44 | 173 | 217 | 20.3% | 合計 | 54 | 386 | 440 | 12.3% | 職員 | 185 | 673 | 858 | 21.6% | <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>女性</th> <th>男性</th> <th>計</th> <th>女性比率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>部長級</td> <td>0</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>課長級</td> <td>3</td> <td>79</td> <td>82</td> <td>3.7%</td> </tr> <tr> <td>補佐級</td> <td>7</td> <td>112</td> <td>119</td> <td>5.9%</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>10</td> <td>208</td> <td>218</td> <td>4.6%</td> </tr> <tr> <td>主査級</td> <td>47</td> <td>157</td> <td>204</td> <td>23.0%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>57</td> <td>365</td> <td>422</td> <td>13.5%</td> </tr> <tr> <td>職員</td> <td>206</td> <td>655</td> <td>861</td> <td>23.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※女性比率は小数点第2位を四捨五入</p> | 区分 | 女性 | 男性 | 計 | 女性比率 | 部長級 | 0 | 17 | 17 | 0.0% | 課長級 | 3 | 79 | 82 | 3.7% | 補佐級 | 7 | 112 | 119 | 5.9% | 小計 | 10 | 208 | 218 | 4.6% | 主査級 | 47 | 157 | 204 | 23.0% | 合計 | 57 | 365 |
| 区分 | 女性 | 男性 | 計 | 女性比率 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 部長級 | 0 | 18 | 18 | 0.0% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 課長級 | 3 | 76 | 79 | 3.8% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 補佐級 | 7 | 119 | 126 | 5.6% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小計 | 10 | 213 | 223 | 4.5% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主査級 | 44 | 173 | 217 | 20.3% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 54 | 386 | 440 | 12.3% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 職員 | 185 | 673 | 858 | 21.6% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 区分 | 女性 | 男性 | 計 | 女性比率 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 部長級 | 0 | 17 | 17 | 0.0% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 課長級 | 3 | 79 | 82 | 3.7% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 補佐級 | 7 | 112 | 119 | 5.9% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小計 | 10 | 208 | 218 | 4.6% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主査級 | 47 | 157 | 204 | 23.0% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 57 | 365 | 422 | 13.5% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 職員 | 206 | 655 | 861 | 23.9% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|-----------------|-------------|-----------------------------------|---|-----------|------|-------------------------------------|-----|
| 12 市における女性の参画推進 | ②職域の拡大 | 職員の職域の拡大及び能力発揮に向け新たな職域に女性職員を配置した。 | 平成26年4月1日付人事異動において、新たに課長補佐級3名、主査級9名の女性職員を配置した。 【課長補佐級】 健康増進課課長補佐 収納課課長補佐 会計課課長補佐 【主査級】 市民生活部市民課戸籍担当主査 文化スポーツ部文化課文化振興担当主査 文化スポーツ部主査(かすがい市民文化財団) 健康福祉部健康増進課保険担当主査 健康福祉部高齢福祉課高齢福祉担当主査 健康福祉部生活援護課保護担当主査 会計管理者会計課審査担当主査 教育委員会事務局学校給食課 監査事務局監査課監査担当主査 | C | A | 引き続き、管理職等への女性職員の登用を推進する。 | 人事課 |
| | ③職業能力の開発・向上 | 職員の職域の拡大及び能力発揮に向け、研修等への参加を推進した。 | ○愛知県市町村職員振興協会研修センター ・「行政法基礎研修」 ・「地方税研修(民税)」 ・「プレゼンテーション研修」 ・「接遇指導者養成研修」 ○NOMA ・「地域包括ケアシステム構築に向けた取組」 ○その他 ・自治大 第1部・第2部特別課程第27期 ・DV被害者対応スキルアップ研修会 | C・E | A | 今後リーダー的な存在を育成することを目的とした研修に市職員を派遣予定。 | 人事課 |

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|----------------------------|-------------------|--|--|------------|------|-----------------|---------|
| 13 地域活動における意思決定過程への女性の参画促進 | ①地域活動団体などへの女性登用促進 | 地域で活動する団体などにおいて、女性が構成員にとどまらず、代表者として意思決定の場へ参画できるよう啓発を進めた。 | 区・町内会・自治会長 568名(52名)9.2% 春日井市コミュニティ推進連絡協議会 27名(3名) 11.1% 春日井市区長町内会長連合会 28名(0名) 0% ※()内は女性委員 | C | A | 事業継続 | 市民活動推進課 |
| | | | 「女性のチャレンジ応援」をホームページに掲載し、広く周知を図った。 ・「市民・事業者などに向けた広報・啓発」I-1-1-①参照 ・「ジェンダーに敏感な視点を取り入れた講座などの開催」I-2-6-①参照 | A・C D・E | A | 事業継続 | 男女共同参画課 |
| 14 人材・団体の育成と情報の提供 | ①人材育成セミナーなどの情報提供 | 一人ひとりがジェンダーに敏感な視点で事業にあたることができるよう、ジェンダーについての理解を深めることができるよう支援した。 | 愛知県男女共同参画人材育成セミナー等に参加者を派遣した。 ・愛知県男女共同参画人材育成セミナー 参加者 ガールスカウト(1人) 開催日 5月～3月(10回) ・女性教育指導者研修会 主 催 愛知県教育委員会 参加者 愛知県婦人会協議会(1名) 開催日 5月～7月(5回) | E | A | 事業継続 | 男女共同参画課 |
| | | | 職業能力開発や職域拡大のため、広報や商工会議所の機関紙などを通じて通信教育、資格取得に関する情報の提供を行った。 | E | A | 事業継続 | 経済振興課 |
| | ②女性団体への活動支援 | 女性団体会員の教養の向上、各種情報の交換と併せて団体相互の連帯と仲間づくりを進めるため、女性団体を支援し、女性の社会参加を促進した。 | ・補助金交付団体 春日井市婦人会協議会 かすがい女性連盟 ・レディヤン祭の開催 開催日 12月13日(土) 参加者 3,400名 | A・B D・E | A | 事業継続 | 男女共同参画課 |

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|-------------------|------------|---|---------------------|-----------|------|-----------------|-------|
| 14 人材・団体の育成と情報の提供 | ③自主的学習への支援 | 市の行政、施策について、情報提供を図り、市政に対する理解と関心を深め、市民参画の推進と開かれた市政の実現を目指し、職員が出向いて話をする「生涯学習まちづくり出前講座」を実施した。 | 「出前講座の活用」 I-1-2-③再掲 | E | A | 事業継続 | 生涯学習課 |

課題2 就業における男女共同参画の促進

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|--------------------|------------------|--|--|-----------|------|-----------------|---------|
| 15 男女が働きやすい職場環境の整備 | ①関係法令の周知徹底のための啓発 | 職員が自己の能力を十分に発揮できる働きやすい環境を整えた。 | ハラスメント防止研修の開催 実施日 平成27年1月26～27日(3時間) 講師 委託事業者 受講者 242名 | A・C | A・B | 事業継続 | 人事課 |
| | | 男女の雇用機会の均等を推進するとともに、職場におけるセクシャル・ハラスメントの防止対策を講じるよう事業者へ周知した。 | 関係機関の情報をホームページに掲載した。 | D・E | A | 事業継続 | 男女共同参画課 |
| | | 男女の雇用機会の均等を推進するとともに、職場におけるセクシャル・ハラスメントの防止対策を講じるよう事業者へ周知した。 母性が尊重され、働きながら安心して出産ができる職場環境の整備に向けて、事業者、労働者双方に啓発した。 | <ul style="list-style-type: none"> 労働基準法、パートタイム労働法などの周知 窓口にチラシの設置 男女雇用機会均等法の周知徹底 関係機関との情報をホームページへ掲載 各種チラシを窓口に設置 「男女雇用均等法のあらし」(厚生労働省) 職場における母性保護に関する法律などの周知徹底 HPにて関連情報を掲載 | E | A | 事業継続 | 経済振興課 |

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|--------------------|----------------------------------|--|--|-----------|------|--|---------|
| 15 男女が働きやすい職場環境の整備 | ②就業環境と就業条件の整備、セクシャル・ハラスメント防止啓発など | 職員が気軽に相談することができる枠組を整備した。 男女の雇用機会の均等を推進するとともに、職場におけるセクシャル・ハラスメントの防止対策を講じるよう事業者へ周知した。 母性が尊重され、働きながら安心して出産ができる職場環境の整備に向けて、事業者、労働者双方に啓発した。 | 春日井市職場における苦情相談処理制度に関する要綱の整備し、職員が気軽に相談することができる枠組を整備した。 | D・E | A | 事業継続 | 人事課 |
| | | | 関係機関の情報をホームページに掲載した。 | D・E | A | 事業継続 | 男女共同参画課 |
| | | | 各機関の情報をホームページに継続して掲載した。 | E | A | 事業継続 | 経済振興課 |
| ③職場復帰研修などの実施 | | 育児・介護休業取得者に対して、職場復帰プログラムを検討し、スムーズな職場復帰ができるよう支援した。 | 育児休業等の長期休業者が安心して職場復帰できる職場環境にするため、人材育成基本方針に育児休業等長期休業からの復帰支援についての項目を明記した。 | A・C | A | 育児休業等の長期休業者に、休業中から職場や業務に関する情報を提供するなどの支援体制を整えるとともに、復帰時の研修実施についても検討する。 | 人事課 |
| | | | ・再就職を希望の方に、ブランク等の再就職に対する不安を取り除き、面接時のポイントなどを解説する再就職準備セミナーを行った。 開催日：平成26年5月30日 参加者：8名(女性7名、男性1名) | E | A | 事業廃止 | 経済振興課 |
| ④労働に関する各種相談体制の充実 | | 職員が気軽に相談することができる枠組を整備した。 労働に関する問題に対処する相談を実施した。 | 春日井市職場における苦情相談処理制度に関する要綱を整備し、職員が気軽に相談することができる枠組も併せて整備 | D | A | 事業継続 | 人事課 |
| | | | ・労働相談 第1水曜日 午後1時から4時まで (年12回実施) 相談員は愛知県より派遣 相談件数 14件(女性5名、男性9名) | C | A | 事業継続 | 市民活動推進課 |

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|--------------------|------------------|---|---|-----------|------|--|---------|
| 15 男女が働きやすい職場環境の整備 | ④労働に関する各種相談体制の充実 | 働く女性の職場の悩みなど、さまざまな問題に対処する相談を実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> 女性の悩み相談 女性のための法律相談 | C・E | A | 事業継続 | 男女共同参画課 |
| | | <p>家庭外で働くことの困難な希望者に対し、内職や就業に関する相談や斡旋を行った。</p> <p>また、市母子自立支援相談員による母子家庭及び寡婦の自立に必要な情報提供及び指導を行うとともに職業能力の向上及び求職活動に関する支援を行った。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 母子・父子自立相談 <p>相談日時 月～金曜日 午前9時～午後5時</p> <p>相談場所 子ども政策課</p> <p>相談件数 1,869件</p> | D | A | <ul style="list-style-type: none"> 事業継続 母子就業相談(県事業)はH25で廃止 | 子ども政策課 |
| | | 労働者の就業上の悩みなど、さまざまな問題に対処できるよう相談機関の情報を提供した。 | <p>労働相談窓口情報について関係機関からのチラシなどを窓口において啓発した。また、関係機関の紹介をホームページに逐次掲載した。</p> <p>・内職相談(県事業) ※子ども政策課から移管</p> <p>相談日時 火曜日 午前10時～午後3時</p> <p>相談場所 総合福祉センター</p> <p>平成26年4月～平成27年3月</p> <p>相談件数 688件</p> <p>求職件数 77件</p> <p>あつ旋件数 61件</p> | E | A | 事業継続 | 経済振興課 |

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|------------------------------|-------------------------|--|--|-----------|------|-----------------|---------|
| 16 商工業・農業などの自営業における男女共同参画の促進 | ①家族経営協定などの周知 | 女性が家族従事者として果たしている役割が正當に評価され、経営上のパートナーシップが確立されるよう啓発をした。 | 女性の労働を適切に評価し、主体的に農業経営に参画でき、意欲と能力を存分に発揮できる環境を整備するため、農業者等への周知を図るとともに、家族間の取り決めに確かなものとするため、協定の締結に立ち会った。 ・家族経営協定締結 新規1件 (うち認定農業者1件) 見直し1件 (うち認定農業者1件) | E | A | 事業継続 | 農政課 |
| | ②農業経営の改善支援 | 経営改善に取り組み意欲のある農業者を性別・専業・兼業の別等を問わず「認定農業者」として選定し、農業経営の改善を支援した。 | ・認定農業者 再認定2件 (個人男性1件、法人1件) 計22件(H27.4.1現在) ・農地利用集積促進奨励金交付 1件 ・農業経営基盤強化資金利子補給金交付 2件 | E | A | 事業継続 | 農政課 |
| | ③女性経営者、女性従業者のネットワークへの支援 | 働く女性のネットワークづくりへの支援を行った。 | 市ホームページから関係機関のページへリンクした。 | D・E | A | 事業継続 | 男女共同参画課 |
| | | | 実績なし | | C | 予定なし | 経済振興課 |
| | | 農産加工、環境問題への取り組みなど、女性の能力発揮をめざして活動を支援した。 | 春日井市生活改善実行グループ連絡研究会の活動支援 ・秋の農業祭(11月22日～23日)への模擬店の出店依頼 | E | A | 事業継続 | 農政課 |

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|---|----------------------|--|--|------------|------|-----------------|---------|
| 17 女性のチャレンジ支援 | ①就業支援や職業訓練のための情報提供 | 子育てや介護などでいったん仕事を中断した女性の再チャレンジを推進するため、再就職のための講座を開催した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・めざそう！簿記3級 実施日 7月26日～10月11日(12回・土) 受講者 24名(女性21名、男性3名) 延べ227名 ・パソコン講座～初めてのワード・エクセル～ 実施日 9月7日～28日(4回・日) 受講者 19名(女性12名、男性7名) 延べ66名 ・採用されるには理由がある！～就職支援セミナー～(託児付) 実施日 10月15日、22日(2回・水) 受講者 8名(女性8名) 延べ14名 | A・C D・E | A | 事業継続 | 男女共同参画課 |
| | | 職業能力開発や職域拡大のため、広報や商工会議所の機関紙などを通じて提供した。 | 春日井商工会議所で開催される各種講座を広報で周知した。 日商簿記検定、福祉住環境コーディネーター検定、販売士検定 | D・E | A | 事業継続 | 経済振興課 |
| | ②女性のキャリアアップのための講座の開催 | 働く女性を対象とした講座を開催した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・仕事に役立つ心理学(託児付) 実施日 10月17日、24日(2回、金) 受講者数 19名(女性17名、男性2名) 延べ32名 | A・C D・E | A | 事業継続 | 男女共同参画課 |
| | ③就業・起業に対する支援 | 就業・起業を希望する女性に対し、情報提供を行った。 | ホームページから関係機関へリンクするようにした。 | D・E | A | 事業継続 | 男女共同参画課 |
| 中小企業者に対する商工業振興資金金融制度の窓口になるとともに新規開業者に融資制度の情報を提供した。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・日本政策金融公庫などの創業資金融資についてHPで情報提供を行った。 ・創業支援利子補給補助金 95件 7,245,913円 (うち女性17件 1,358,568円) | E | A | 事業継続 | 経済振興課 | |
| | | | 【就業・起業支援講座の開催】 ・実績なし | | | | |

課題3 地域における男女共同参画の促進

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|---------------------------|-----------------------|---|---|-----------|------|-----------------|-------------|
| 18 男女共同参画の視点を取り入れた地域活動の普及 | ①市民協働の推進 | 男女が地域を支える一員として多様なボランティア活動・市民活動に参加できるようにその楽しさや素晴らしさを知ってもらうための支援を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ささえ愛センターまつり 参加者 60団体 延べ2,500名 実施日 4月20日(日) ・市民活動展示会 平成26年6月22日(日)～27日(金) 本庁者 来場者延べ2,060名 本庁者以外に東部市民センター、知多公民館、南部ふれあいセンターで実施 | B・D E | A | 事業継続 | 市民活動支援センター |
| | ②区、町内会やコミュニティ推進地区への支援 | 地域活動の情報提供や交流の場の提供などによりネットワークづくりへの支援を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> ・助成金 区・町内会・自治会 加入1世帯あたり 600円 コミュニティ推進協議会 1地区あたり 75,000円(上限) ・防犯灯 設置灯数 4,433灯 電気料 (対象灯数 16,129灯)補助 ・自治会活動(コミュニティ)保険に加入 給付申請件数 20件 (平成27年3月31日現在) | A | A | 事業継続 | 市民活動推進課 |
| | ③PTA連絡協議会への支援 | 子どもの健全な育成を図るため、各校単位のPTAが行う子どもの安全を図るための事業に助成した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・PTA連絡協議会への支援 会員数 26,958名 | B | A | 事業継続 | 学校教育課 |
| | ④団体、グループへの支援 | 女性団体、グループなどの学習活動の支援を図った。 | <ul style="list-style-type: none"> ・認定団体 女性団体 129団体(平成27年3月末現在) ・団体連絡室の利用状況(平成27年3月末現在) 女性団体連絡室 96件 661名 青少年団体連絡室 240件 3,672名 消費生活活動室 48件 581名 | D | A | 事業継続 | 男女共同参画課 |
| | | | 講座等の修了生を中心に組織された学習グループの自主的な生涯学習活動に対し、施設利用料の減免等により支援、育成した。 | C・E | A | 事業継続 | 生涯学習課(含公民館) |

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|---------------------------|--------------|---------------------------------------|--------------|-----------|----------------------------|-----------------|--|
| 18 男女共同参画の視点を取り入れた地域活動の普及 | ④団体、グループへの支援 | 地域で活動する団体やグループに、活動が充実したものになるよう支援を行った。 | | A・C D | A | 事業継続 | 男女共同参画課 市民活動支援センター 東部市民センター 公民館 ふれあいセンター |
| | | | | 団体数 | 会員数 | | |
| | | | レディヤンかすがい | 152 | 5,862 (女性3,635、男性2,227) | | |
| | | | ささえ愛センター | 20 | 239 (女性187、男性52) | | |
| | | | 東部市民センター | 67 | 1,112 (女性736、男性376) | | |
| | | | 味美ふれあいセンター | 48 | 694 (女性531、男性163) | | |
| | | | 高蔵寺ふれあいセンター | 56 | 881 (女性687、男性194) | | |
| | | | 南部ふれあいセンター | 49 | 675 (女性533、男性142) | | |
| | | | 西部ふれあいセンター | 55 | 939 (女性757、男性182) | | |
| | | | 中央公民館 | 47 | 940 (女性491、男性449) | | |
| | | | 知多公民館 | 60 | 988 (女性708、男性280) | | |
| | | | 鷹来公民館 | 68 | 1102 (女性825、男性277) | | |
| 坂下公民館 | 65 | 1045 (男性281、女性764) | | | | | |
| | | | (平成27年3月末現在) | | | | |

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|---------------------------|---------------------|---|--|-----------|------|-----------------|------------|
| 18 男女共同参画の視点を取り入れた地域活動の普及 | ⑤地域活動のネットワークづくりへの支援 | 地域活動の情報提供や交流の場の提供などによりネットワークづくりへの支援を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ視察研修会の実施(コミュニティ推進連絡協議会主催) ・コミュニティ紙の相互交換 コミュニティ推進地区で発行したコミュニティ紙を相互に交換した。 ・地域ネットワークづくりへの支援 春日井市区長町内会長連合会 春日井市コミュニティ推進連絡協議会 | B・E | A | 事業継続 | 市民活動推進課 |
| | ⑥ボランティア・NPOへの支援 | 男女が地域を支える一員として、多様なボランティア活動に取り組みやすい環境をつくるため、市民活動を支援した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 50,501名(集会室利用者含む) ・市民活動支援センター新規登録団体 15団体 ・かすがい市民活動情報サイト 新規登録会員 24団体 ・ボランティア相談 相談日時 火～金曜日 午前9時～正午、午後1時～5時 利用件数 1,904件 ・市民活動・NPO相談 相談日時 火～日曜日 午前9時～午後9時(要予約) 利用件数 20件 ・魅力発信セミナー 実施日 6月22日(日)、9月7日(日) 個別相談 9月28日(日) 受講者 44名(24団体) ・会計セミナー 実施日 平成27年2月5日(木) 受講者 30名(23団体) ・助成金獲得セミナー 実施日 平成27年3月5日(木) 個別相談 平成27年3月19日(木) 受講者 18名(11団体) <p>平成27年3月31日の当市におけるNPO法人 認証数 60団体</p> | C・D E | A | 事業継続 | 市民活動支援センター |

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|--------------------------------|------------------|---|--|-----------|------|-----------------|--------------------|
| 18 男女共同参画の視点を取り入れた地域活動の普及 | ⑥ボランティア・NPOへの支援 | 地域活動の情報提供や交流の場の提供などによりネットワークづくりへの支援を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> 講座、研修等の開催 5講座 延べ144名 ボランティアセンター登録者数 登録団体:160団体、2,611名 (女性2,164名、男性447名) 個人会員:132名(女性101名、男性31名) 平成27年3月末現在 | A・D E | A | 事業継続 | 高齢福祉課 (社会福祉協議会) |
| 19 安全・安心で環境にやさしいまちづくりへの男女の参画促進 | ①多様な視点による災害対策の構築 | <p>災害が発生した場合の住民自らが行う防災活動実践のために、自主防災会・自治消防団のリーダーを対象に研修会を開催した。</p> <p>また、春日井市地域防災計画の修正内容を踏るため、春日井市防災会議を開催し、各関係機関からの出席の委員により内容を精査した。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 平成26年度自主防災組織リーダー研修会 実施日 7月27日(日) 受講者 150名 講演 「災害情報を生かす」 講師 関西大学理事 社会安全学部社会安全研究センター長・教授 工学博士 阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター長 河田恵昭 氏 平成26年度春日井市防災会議 開催日 10月16日(木) 委員数 47名(うち女性委員7名) | E | A | 事業継続 | 市民安全課 |
| | | <p>市内で組織化している自主防災会で災害時の活動を主とした訓練を実施した。</p> | <p>平成26年度事業の実績 129回 9,888名(ミニ防災会含む)</p> | E | A | 事業継続 | 消防総務課 |

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|--------------------------------|--------------|---|---|-----------|------|-----------------|-------|
| 19 安全・安心で環境にやさしいまちづくりへの男女の参画促進 | ②災害時要援護者への支援 | 言葉のハンディがあるなど大地震等の災害時に要援護者となる外国人居住者を対象に、防災の知識を習得してもらい、災害時に安全に行動できるよう講習会を実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> 外国人向け地震講習会 日時 平成27年3月8日(日) 参加者 69名(うちボランティア17名) | D・E | A | 事業継続 | 市民安全課 |
| | ②災害時要援護者への支援 | 災害時の非難支援を希望する災害時要援護者の避難支援が迅速かつ円滑に実施されるよう、住民にとって一番身近な区・町内会・自治会などの協力を得て、地域の任意の協力(共助)による避難支援体制を確保した。 災害時に迅速かつ適切に要援護者の安否確認を行うために、災害時要援護者安否確認リストと地図情報を統合した災害時要援護者支援システムを管理し、災害に備えた。 | <ul style="list-style-type: none"> 災害時要援護者避難支援の登録者 996名(平成27年3月31日現在) 安否確認リスト掲載者 14,473名(平成27年3月31日現在) マニュアルの配布 災害時要援護者支援マニュアル 災害時要援護者マップ作成マニュアル | C・E | A | 事業継続 | 高齢福祉課 |

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|--------------------------------|------------------|--------------------------------------|---|-----------|------|-----------------|-------|
| 19 安全・安心で環境にやさしいまちづくりへの男女の参画促進 | ③環境活動における女性の参画促進 | 地球温暖化防止など環境負荷軽減の取組を推進するため市民への啓発を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民環境フォーラムの開催 実施日 9月13日(土) 場 所 東部市民センターホール 参加者数 380名 ・エコライフセミナーの開催 <ul style="list-style-type: none"> ①夏休み子どもエコライフセミナー 「竹で水鉄砲作り、水を飛ばして暑さを吹き飛ばせ～」 実施日8月6日(水) 場 所 西部ふれあいセンター 参加者 24組57名 ②エコライフセミナー「ハイブリッドカー 工作教室！～親子で遊びながらエコについて学ぼう～」 実施日 12月21日(日) 場 所 レディヤンかすがい 参加者 22組53名 ③エコライフセミナー「段ボールおもしろ親子教室 実施日 1月25日(日) 場 所 グリーンパレス春日井 参加者 18組39名 ・春日井まつりエコワールド 実施日 10月18日(土)、19日(日) 場 所 中央公園会場 参加者 16,395名 <p>○市民・事業者との協働組織への支援 45会員(320名)個人31名、市民団体11団体(286名)、事業者3社</p> | D・E | A | 事業継続 | 環境政策課 |

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|--------------------------------|----------------------|--|--|-----------|------|-----------------|-------|
| 19 安全・安心で環境にやさしいまちづくりへの男女の参画促進 | (4)地域の安全なまちづくり活動への支援 | 犯罪や事故がなく、環境にも配慮した安全なまちづくりを目指すため、男女共同参画の視点を取り入れ、活動の活性化を図った。 | <p>【安全都市研究部会】 ウェブサイトを活用した道路修繕等の活用について調査研究した。</p> <p>【安全活動推進部会】 部会事務局員(市職員)により災害凶上訓練(DIG)および避難所運営ゲーム(HUG)を実施した。</p> <p>【啓発活動推進部会】 春日井安全アカデミー安全学部を7月12日から11月29日まで2過程2コース7講座の計28講座を開講した。</p> <p>【青少年問題調整部会】 市内公立38小学校の新1年生を対象に、「こども防犯教室」を5月28日から10月24日まで開催した。 小学4～6年生の高学年を対象に、「子ども安全アカデミー」を7月25日に開催した。</p> <p>【暴力追放推進部会】 市内の事業者を対象とした「不当要求責任者講習会」を2月16日に開催した。</p> | A・E | A | 事業継続 | 市民安全課 |

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|--------------------------------|----------------------|--|--|------------|------|-----------------|--------|
| 19 安全・安心で環境にやさしいまちづくりへの男女の参画促進 | (4)地域の安全なまちづくり活動への支援 | 地域の大人に「もっと子どもに関心を持ってもらう」ことを目的とする「大人が変われば子どもも変わる」運動を推進するため、登下校時や帰宅時に地域で遊ぶ子どもたちを見守り、声かけ運動を行った。 | 【安全・安心まちづくりポニター】 市や協議会への参加(防災訓練、災害図上訓練)やポニター独自の事業(簡易防犯診断、児童見守り、市内河川状況把握等)の活動を実施した。 391名(うち女性 107名)が加入 (平成27年4月1日現在) 【春日井安全・安心まちづくり女性フォーラム実行委員会】 13名の女性で組織(平成27年4月1日現在) 小学校、幼稚園、保育園、PTA等に対して、子どもの安全意識啓発活動を実施した。 【春日井駅前防犯ステーション運営協議会】 春日井駅前の防犯ステーションを地域での防犯拠点として、見守り活動や自転車盗難防止キャンペーン等の安全意識啓発活動を実施した。 46名(うち女性3名)が加入 (平成27年4月1日現在) | A・E | A | 事業継続 | 市民安全課 |
| | | | ・705名(女性360名、男性345名)で活動 | B・C D・E | A | 事業継続 | 子ども政策課 |

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|--------------------------------|--------------------|--|--|-----------|------|-----------------|-------|
| 19 安全・安心で環境にやさしいまちづくりへの男女の参画促進 | ④地域の安全なまちづくり活動への支援 | 犯罪や事故がなく、環境にも配慮した安全なまちづくりを目指すため、男女共同参画の視点を取り入れ、活動の活性化を図った。 | <ul style="list-style-type: none"> ・各地域ごとに、広く参加者を募り、子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう支援体制に努めた。 ・各学校ごとに活動していただく方から意見を聞く機会を設け、教育について地域との連携を深めるとともに、子どもたちの実態把握や地域理解に努めた。 ・日ごろより、見守っていただく方へのお礼の場を設定して、子どもたちの感謝の気持ちを伝える企画をしたり、子どもたちと一緒に登下校する機会を設けたりして、多くの人々とのかわりの中で生きていることを体感させるよう努めた。 | B・D E | A | 事業継続 | 学校教育課 |

課題4 さまざまな困難を抱える男女への支援

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|-----------------|---------------|--|--|-----------|------|-----------------|-------|
| 20 高齢者・障がい者への支援 | ①高齢者・障がい者自立支援 | 障がい者であるかにかかわらず、心身ともに健やかに自立した生活を地域で営むことができるよう、社会参画を推進するための支援を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> ・視覚障がい者へ「声の広報かすがい」の送付 形態 カセットテープ(60分)又はCD 制作・配付回数 毎月2回、年間24回 配付数 1回あたり50件前後 配付対象者 市内在住の視覚障がい者(1～6級)のうち、利用を希望する者 配付方法 郵送(盲人用郵便) | D | A | 事業継続 | 広報広聴課 |

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|-----------------|---------------|--|---|-----------|------|---|--------------------|
| 20 高齢者・障がい者への支援 | ①高齢者・障がい者自立支援 | ひとり暮らしの高齢者等に対し、住み慣れた地域社会の中で生活することができるよう支援を行った。 | 1 高齢者生活支援ホームヘルプサービス 利用世帯 105世帯 延べ回数 5,365回 | D・E | A | ・事業継続 生活支援ショートステイのうち生活管理指導ショートステイは、平成26年度を持って廃止。 | 高齢福祉課 |
| | | | 2 高齢者生活支援ショートステイ 緊急ショートステイ 延べ人数 17名(女性7名、男性10名) 延べ日数 648日 生活管理ショートステイ 延べ人数 1名(女性1名) 延べ人数 7日 | | | | |
| | | | 3 高齢者訪問入浴サービス 登録者数11名(女性7名、男性4名) | | | | |
| | | | 4 高齢者日常生活用具給付・貸与 電磁調理器12件、電子調理器2件 火災警報器 4件、 5 高齢者寝具乾燥交換サービス 寝具乾燥 登録者64件、寝具交換登録者28件 6 訪問理美容サービス 延べ利用者3,310名 7 健康診断書料助成 助成件数 154件(高齢者サービス1件、 介護サービス153件) 8 緊急通報システム設置 新規設置台数 130台 (総設置台数1,094台) 9 介護福祉特別給付金 受給者2,551名 10 生活支援給付金 利用者 18名(女性13名、男性5名) 11 友愛電話訪問 利用者22名(女性19名、男性3名) 12 高齢者賃貸住宅住み替え助成 4件 | | | | |
| | | | 福祉電話事業 31名 | D・E | A | 事業継続 | 高齢福祉課 (社会福祉協議会) |
| | | | 「地域支援体制の充実」Ⅲ-4-29-③参照 | D・E | A | 事業継続 | 介護保険課 |

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|-----------------|-----------------------|--|--|-----------|------|-----------------|--------|
| 20 高齢者・障がい者への支援 | ①高齢者・障がい者自立支援 | 障がい者の自立と社会参画を進めるため、福祉サービスの提供を行った。 視覚障がい者に広く図書資料の利用ができるよう、録音図書・点字図書の作成及び貸出、対面読書を実施した。 また、音訳技術講習会を実施し、録音図書製作に携わるボランティアの養成を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> 障がい者対象パソコン教室 ①手とり足とりパソコン講座(16回) 受講者 延べ38名 ②実践パソコン講座(8回) 受講者 延べ10名受講 ③視覚障がい者編(4回) 受講者 延べ8名 聴覚障がい者への手話通訳者派遣 利用者 526名 手話通訳派遣:376回 要約筆記派遣:6回 | D・E | A | ・事業継続 | 障がい福祉課 |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> デージー図書(CD)48種(238種所蔵) 利用70件 点字データ製作 66種(474種所蔵) 利用80件 対面読書 91回実施 音訳技術講習会(初級編) 5月～9月 計12回実施 受講者12名(女性11名、男性1名) 音訳技術講習会(デジタル編) 10月 計2回実施 受講者51名 視覚障がい者等郵送貸出 利用者数80名 | E | A | 事業継続 | 図書館 |
| | ②障がい者生活支援相談の充実 | 障がい者の在宅福祉サービス利用援助、社会資源の活用など日常・社会生活について相談や情報提供を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> 障がい者生活支援センター(5カ所) 春日井苑障がい者生活支援センター 障がい者生活支援センターかすがい 障がい者生活支援センターあつとわん 障がい者生活支援センターJHNまある 障がい者生活支援センターしゃきょう 相談者数 延べ8,773名 地域自立支援協議会の開催 3回 | B | A | 事業継続 | 障がい福祉課 |
| | ③障がい者多数雇用企業等優先発注制度の実施 | 障がい者も個人の尊厳が保たれ、心身ともに健やかに自立した生活を地域で営むことができるよう、障がい者雇用の促進に向けて、市独自の企業への優遇制度を推進した。 | 登録数:1施設 | E | A | 事業継続 | 総務課 |

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|------------|---|---|-----------|------|-----------------|--------|-----------|----|----------|-----|--------|----|-----------|----|-------|----|---|---|------|--------------------|
| 20 高齢者・障がい者への支援 | ④生活福祉資金の貸付 | 高齢者世帯に対し、経済的自立及び生活意欲の助長促進等を図り、安定した生活を確保することを目的として資金の貸付を行った。 | <p>1生活福祉資金(国の制度として)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合支援資金 生活支援費、住居入居費、一時生活再建費 ・福祉資金 福祉費、緊急小口資金 ・教育支援資金 教育支援費、就学支度費 ・不動産担保型生活資金 <p>2臨時特例つなぎ資金(国の制度として)</p> <p>3くらし資金(愛知県の制度として) (内訳)</p> <table border="0"> <tr> <td>貸付実績 合計</td> <td>53件</td> </tr> <tr> <td>総合支援資金</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>福祉資金(福祉費)</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>(緊急小口資金)</td> <td>51件</td> </tr> <tr> <td>教育支援資金</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>臨時特例つなぎ資金</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>くらし資金</td> <td>0件</td> </tr> </table> | 貸付実績 合計 | 53件 | 総合支援資金 | 0件 | 福祉資金(福祉費) | 1件 | (緊急小口資金) | 51件 | 教育支援資金 | 0件 | 臨時特例つなぎ資金 | 1件 | くらし資金 | 0件 | C | A | 事業継続 | 高齢福祉課 (社会福祉協議会) |
| 貸付実績 合計 | 53件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 総合支援資金 | 0件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 福祉資金(福祉費) | 1件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (緊急小口資金) | 51件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 教育支援資金 | 0件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 臨時特例つなぎ資金 | 1件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| くらし資金 | 0件 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 21 ひとり親家庭への支援 | ①ひとり親家庭相談 | ひとり親世帯などの自立のために、経済的な支援を行った。 | <p>○母子父子自立相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談日時 月～金曜日 午前9時～午後5時 ・相談場所 子ども政策課 ・相談件数 1,869件 ・給付金支給 春日井市高等職業訓練促進給付金 16件 春日井市自立支援教育訓練給付金 2件 春日井市高等職業訓練訓練修了支援給付金 11件 ・ひとり親家庭生活支援事業 ひとり親家庭情報交換事業 1回 ・母子自立支援プログラム策定事業 3件 | D | A | 事業継続 | 子ども政策課 | | | | | | | | | | | | | | |

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|---------------|----------------|--|--|-----------|------|-----------------|---------|
| 21 ひとり親家庭への支援 | ②母子寡婦福祉資金等の貸付 | ひとり親世帯などの自立のために、経済的な支援を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> 相談日時 月～金曜日 午前9時～午後5時 相談場所 子ども政策課 相談件数 212件 貸付件数 就学支度資金 0件 修学資金 0件 生活資金 0件 | D | A | 事業継続 | 子ども政策課 |
| | ③日常生活支援 | 母子家庭等が就学等の自立に必要な事由や疾病等の事由により、一時的に生活援助又は子育て支援が必要な場合や生活環境等の激変により日常生活を営むのに支障が生じる場合に、その居宅等において乳幼児の保育、食事の世話等を行った。 | 【介護人の派遣支援】 <ul style="list-style-type: none"> 相談日時 月～金曜日 午前9時～午後5時 相談場所 子ども政策課 ヘルパー派遣 春日井市母子家庭等日常生活支援事業 1世帯 24時間 | D | A | 事業継続 | 子ども政策課 |
| 22 在住外国人への支援 | ①外国人のための相談 | 外国人住民が抱える悩みや不安を軽減する相談を実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> 外国人相談 第1～4水曜日 午前9時から正午まで 午後1時から午後4時まで 相談員は、春日井国際交流会・KIFとの委託契約により派遣。 相談件数 28件(女性20名、男性8名) | D | A | 事業継続 | 市民活動推進課 |
| | ②外国語による生活情報の提供 | 在住外国人が円滑に市民生活を送ることができるよう支援を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> 「春日井シティマップ(外国語版)」の作成 「インフォメーション春日井」の作成 市ホームページで英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語への自動翻訳機能を提供 | D | B | 事業継続 | 広報広聴課 |

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|--------------|-----------------|--------------------------------------|---|-----------|------|-----------------|------------|
| 22 在住外国人への支援 | ③異文化理解のための講座の開催 | 在住外国人が円滑に市民生活を送ることができるよう支援を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「春日井くらしのガイド」を作成し、国際交流ルームの他、市民課窓口等で設置・配布を行った。 (翻訳言語) 英語、ポルトガル語、中国語、フィリピン語、スペイン語 ・多言語に翻訳された各種行政資料を国際交流ルームへ配架し、情報提供を行った。 | D | A | 事業継続 | 市民活動支援センター |
| | | | <p>(1)「かすがいふれあい教室」の開催。</p> <p>【日本語教室】</p> <p>第2・3・4・5金曜日及び日曜日(各全10回)</p> <p>場所:ささえ愛センターほか</p> <p>受講者:延べ2,077名</p> <p>【伝統文化体験講座】</p> <p>○浴衣の着付け体験:6月22日(日)</p> <p>場所:ささえ愛センター 受講者:46名</p> <p>○書道体験:11月16日(日)</p> <p>場所:ささえ愛センター 受講者:26名</p> <p>○茶道・琴の演奏体験:1月25日(日)</p> <p>場所:ささえ愛センター 受講者:41名</p> <p>【託児】</p> <p>託児件数(子ども人数):延べ131件</p> <p>(2)外国文化紹介イベント等を開催し異文化への理解を深めるため、「わくわく!ふれあいワールド」を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全6回、参加者:283名 | D | A | 事業継続 | 市民活動支援センター |
| | | 在住外国人が円滑に市民生活を送ることができるよう、日本語講座を開催した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・外国人のための日本語講座(入門コース) 開催日 5月11日～2月22日(20回講座・隔週) 受講者 延べ90名 | D・E | A | 事業継続 | 東部市民センター |

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|--------------|-----------------|--------------------------------------|--|-----------|------|-----------------|-------------|
| 22 在住外国人への支援 | ③異文化理解のための講座の開催 | 在住外国人が円滑に市民生活を送ることができるよう、日本語講座を開催した。 | ・外国人のための日本語講座(中央公民館)をはじめ、多文化共生に関する市民講座、短期講座を開催した。 | E | A | 事業継続 | 生涯学習課(含公民館) |
| | | | 実績なし | | C | 予定なし | 知多公民館 |
| | | | ・外国人のための日本語講座(初心者コース・初級コース) 開催日 5月11日～3月15日 (年28回講座・日) 受講者 初心者コース 8名 (女性5名、男性3名) 初級コース 10名 (女性6名、男性4名) | C・D | A | 未定 | 中央公民館 |
| | ③異文化理解のための講座の開催 | 異文化を理解するための講座を開催した。 | 【市民講座】 ・話してみたい中国語 開催日 5月11日～7月6日(8回・日) 受講者 16名(女性12名、男性4名) | B・E | A | 開催日未定 | 坂下公民館 |
| | | | 前期市民講座 「はじめての韓国語」講座 開催日 5月～9月(全8回・火) 受講者 26名 (女性24名、男性2名)延べ147名 | A・D E | A | 検討中 | 鷹来公民館 |

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|--------------|-------------|---|---|-----------|------|-----------------|------------|
| 22 在住外国人への支援 | ④国際協調のための交流 | 国際交流ルームを活用し、ネットワークづくり活動を支援した。 また、日本語の不自由な外国人住民のために通訳ボランティアを派遣し、行政窓口や学校等での手続きが円滑に行えるよう支援した。 | <ul style="list-style-type: none"> 春日井市国際交流ネットワーク会議の開催 会議開催数:6回/年 通訳ボランティア派遣件数:26件/年 通訳ボランティア登録者数:55名 (平成27年3月末現在) | C・D | A | 事業継続 | 市民活動支援センター |

目標Ⅲ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)実現に向けた環境づくり

課題1 ワーク・ライフ・バランスの推進

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|--------------------------|--------------------|--|--|-----------|------|-----------------|---------|
| 23 ワーク・ライフ・バランスの理解と意識の醸成 | ①ワーク・ライフ・バランスの普及啓発 | 女性も男性も、多様な生き方が選択・実現できるよう、ワーク・ライフ・バランスの考え方を普及啓発した。 | ・ワーク・ライフ・バランスを推進させるためのセミナーを開催した。 実施日 2月17日(火) テーマ「育児・介護する社員も力を発揮できる職場に～ワーク・ライフ・バランスを考える～」 受講者 一般市民など 35名 (女性18名、男性17名) | C・D E | A | 事業継続 | 男女共同参画課 |
| | | | ・男女共同参画情報誌「はるか」VOL.37で、ワーク・ライフ・バランスについての記事を掲載した。 県のワーク・ライフ・バランスのポスターを窓口に掲示した。 | E | A | 事業継続 | 経済振興課 |
| | ②育児・介護休業等の取得促進 | 仕事、家庭生活、地域生活及び個人の自己啓発など、様々な活動について充実させることができるワークライフバランスを推進した。 女性はもとより男性の育児休業・介護休業が取得できるよう啓発した。 | ・人材育成基本方針にワークライフバランスについての項目を明記した。 ・「あいちワーク・ライフ・バランス推進運動」の実施について職員に周知した。 | A・D | A・B | 事業継続 | 人事課 |
| | | | HPにて関連情報を掲載した。 | E | A | 事業継続 | 経済振興課 |
| | ③多様な働き方に関する情報提供 | 男女が共に豊かでゆとりのある家庭生活と職場を両立できるよう、多様な働き方に関する情報を提供した。 | テレワーク・SOHOなどの情報収集に努め、市ホームページから関係機関のページへリンクした。 | D・E | A | 事業継続 | 男女共同参画課 |
| | | | ・内閣府のHPなどに掲載のある先進的取組事例の情報収集に努めた。 ・関係機関からのチラシ、ポスターなどを窓口において啓発した。また、関係機関の紹介をホームページに逐次掲載した。 ・愛知県のワーク・ライフ・バランスのポスターを掲示した。 | E | A | 事業継続 | 経済振興課 |

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|-------------------------|--------------------------------------|---|--------------------------|-----------|------|----------------------------|---------|
| 24 事業者などに対する啓発と取り組みへの支援 | ①ワーク・ライフ・バランスに 取り組むメリットの周知 | 事業者などがワーク・ライフ・バランスに取り組むメリットや、先進的な取り組み事例の内容及び効果を広く周知した。 | 関係機関の紹介をホームページに掲載した。 | D・E | A | 事業継続 | 男女共同参画課 |
| | | | 各機関の情報をホームページへ掲載した。 | E | A | 事業継続 | 経済振興課 |
| | ②ファミリーフレンドリー企業の紹介 | 男女共同参画事業推進優良企業の情報収集に努めた。 仕事と家庭の両立に配慮した取組を進めるファミリー・フレンドリー企業に認証された企業を市のホームページに掲載し紹介した。 | 市ホームページから関係機関のページへリンクした。 | D・E | A | 事業継続 | 男女共同参画課 |
| | | | 市内20社(平成26年4月1日現在) | D・E | A | ・事業継続 ・21社(平成27年4月1日現在) | 経済振興課 |
| ③入札制度における優遇措置の導入 | 総合評価落札方式の入札において、障がい者の雇用率に応じ、配点に加算した。 | 対象工事: 土木1件、建築1件 | E | A | 事業継続 | 総務課 | |

課題2 家庭生活・地域生活における男性の参画推進

| 施策 | 事業名 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|-------------------------|------------|---|---|-----------|------|-----------------|-------------|
| 25 男性の家事・育児・介護などのスキルアップ | ①男性応援講座の開催 | 男女がともに参加できる身近で、生活に密着した講座を開催し、男性の家事能力の向上を促進した。 | ・男の料理～基礎を習う～ 実施日 12月7日～21日(3回・日) 受講者 24名(延べ69名) | A・E | A | 事業継続 | 男女共同参画課 |
| | | | 実績なし | | C | 未定 | 東部市民センター |
| | | | 短期講座 ・「ふわふわスポンジにフルーツを飾ったクリスマスケーキ」 実施日 12月23日(祝・火) 受講者 23名(女性20名、男性3名) ・「栗きんとん」 実施日 10月9日(木) 受講者 22名(女性21名、男性1名) ・「初春の花びら餅」 実施日 平成27年1月16日(金) 受講者 23名(女性21名、男性2名) 家族や自分のために、クリスマスケーキや和菓子を作ってみたい男性も、気軽に参加できる講座。 | B・D E | A | 事業継続 | 鷹来公民館 |
| | | | アロマで風邪予防、香りで除菌～ハーブティを楽しみながら除菌スプレーを作る～ 実施日 12月17日(水) 受講者 24名(女性23名、男性1名) | A・C E | A | 事業継続 | 高蔵寺ふれあいセンター |

| 施策 | 事業名 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|-------------------------|------------|---|--|-----------|------|-----------------|-------------|
| 25 男性の家事・育児・介護などのスキルアップ | ①男性応援講座の開催 | 男女がともに参加できる身近で、生活に密着した講座を開催し、男性の家事能力の向上を促進した。 | ・短期講座「おやじの料理講座」 実施日 11月27日、12月11日(2回、木) 受講者 15名(男性15名) | A・C E | A | 事業継続 | 西部ふれあいセンター |
| | | | ・ハートフルケアセミナーの開催 3回(1講座3日間) (第1回) 会 場 坂下公民館 日 程 6月11日(水)、18日(水)、 25日(水) 受講者 19名(女性12名、男性7名) (第2回) 会 場 知多公民館 日 程 11月6日(木)、13日(木)、 20日(木) 受講者 8名(女性7名、男性1名) (第3回) 会 場 南部ふれあいセンター 日 程 2月12日(木)、19日(木)、 26日(木) 受講者 10名(女性8名、男性2名) | C・E | A | 事業継続 | 高齢福祉課 |
| | | | ・パパママ教室(平日版) 場 所 健康管理センター、保健センター 回 数 36回 受講者 513名(女性459名、男性54名) ・休日パパママ教室 場 所 健康管理センター、保健センター 回 数 12回 受講者 850名(女性425名、男性425名) ・Uターン育児塾 場 所 健康管理センター、保健センター 回 数 4回 受講者 65名(女性56名、男性10名) | D・E | A | 事業継続 | 子ども政策課 |
| | | | ・育児講座 実施日 4月26日～12月9日 受講者 130組 251名(女性76名、男性54名) | D | A | 事業継続 | 子育て子育て総合支援館 |

| 施策 | 事業名 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|-------------------------|---------------------|---|--|-----------------|------|---|------------|
| 25 男性の家事・育児・介護などのスキルアップ | ②家事・育児等能力の向上 | 身近で生活に密着した講座を通して、男性の家事能力の向上を促進した。 | ・夫婦で子育てを10倍楽しむコツ(託児付) 実施日 10月26日～11月9日(3回・土) 受講者 12名(女性7名、男性5名) 延べ 34名 | A・C E | A | 事業継続 | 男女共同参画課 |
| 26 参加しやすい地域活動の促進 | ①男女がともに参画する地域活動への啓発 | ポスターやチラシを作成する際、男女が共に地域活動に参画することをPRするデザインに努めた。 | ・市民課における加入促進チラシの配布 ・加入促進ポスターの作成、地域の掲示板、公共施設での掲示 ・各町内会に配布する加入促進チラシを配布 | A | A | 事業継続 | 市民活動推進課 |
| | | よりよい地域社会づくりをめざし活動する多様なボランティア・市民活動団体を紹介・PRするため、情報紙を発行した。 | ・情報紙「ささえ愛」 発行部数 2,000部 発行回数 年4回 | B・E | A | 事業継続 | 市民活動支援センター |
| | ②市民活動デビュー講座の開催 | 男女が地域を支える一員として多様なボランティア活動・市民活動に参加するためのきっかけを提供 | ・オトナのボランティアスクール 受講者 女性11名、男性2名 事前学習 8月30日(土)、9月2日(火) 個別 9月12日(金) 座学 9月10日(水) 中間報告会 9月24日(水) 活動体験 9月5日(金)～10月7日(火) 活動報告会 10月10日(金) | A・B C・D E | A | 新たに高齢者の話相手や安否確認などに携わる人材育成セミナーを開催する。(拡充) | 市民活動支援センター |

課題3 子どもを育てる社会環境の整備

| 施策 | 事業名 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|------------------|---------------------|--|---|-----------|------|-----------------|-------------|
| 27 子育て・保育サービスの充実 | ①ファミリー・サポート・センターの充実 | 育児の援助を行いたい者と、受けたい者が相互援助活動を行うことにより、安心して仕事と育児の両立ができる子育て支援を行った。 | ・会員数 863名 (依頼会員 613名・援助会員 122名 両方会員 128名) ・サポート件数 1,764件 ・講習会:年6回 | D | A | 講習会を年6回から5回にする。 | 子育て子育て総合支援館 |

| 施策 | 事業名 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|------------------|-------------------------|--|--|-----------|------|---|--------|
| 27 子育て・保育サービスの充実 | ②子育て支援施設の充実 | 「はぐみんカード」、「赤ちゃんほっとスペース」の利用促進を図り、子育て家庭を地域社会全体で支える機運の醸成を図った。 | <ul style="list-style-type: none"> ・はぐみんカード協賛店舗数 199店舗(平成27年3月31日現在) ・赤ちゃんほっとスペース登録施設数 55施設 (公共施設24施設、民間施設31施設) ・子育て子育て総合支援館 開館日数 307日 来館者 延べ79,051名 ・交通児童遊園 開園日数 307日 来園者 延べ80,014名 ・児童センター 開館日数 307日 来所者 延べ80,014名 | A・D E | A | 事業継続 | 子ども政策課 |
| | | 保護者の就労形態により多様化した保育ニーズに対応した保育サービスを実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・一時保育6園で実施 延べ利用児童数 7,913名 ・延長保育15園で実施 延べ利用児童数 4,962名 ・特定保育1園で実施 延べ利用児童数74名 ・病後児保育3施設で実施 延べ利用児童数 833名 | E | A | 事業継続 | 保育課 |
| | ③親子通所療育事業の充実 | 民間事業所における親子通所療育を実施し、児童及び保護者に対し個別支援計画に基づく適切な療育を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援事業所(市内21か所中親子通所療育実施事業所8か所) 利用者数 延べ2,344名 | E | A | 事業継続 | 障がい福祉課 |
| | ④さまざまな保育ニーズに対応するサービスの提供 | 保護者の就労形態により多様化した保育ニーズに対応した保育サービスを実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・0～2歳児保育40園で実施 利用児童数 1,610名 ・延長保育15園で実施 延べ利用数4,962名 ・障がい児保育17園で実施 利用数190名 ・特定保育1園で実施 延べ利用数74名 ・一時保育6園で実施 延べ利用数7,913名 ・休日保育2園で実施 延べ利用数412名 ・病後児保育3施設で実施 延べ利用数833名 | E | A | 味美にじいる保育園の開園により0～2歳児保育1園増。他の保育サービスも事業継続 | 保育課 |

| 施策 | 事業名 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|------------------|----------------|---|--|------------|------|-----------------|---------|
| 27 子育て・保育サービスの充実 | ⑤放課後児童居場所づくり | <p>保護者が就労や疾病などにより昼間家庭にいない小学生(1年生～3年生)に対して、放課後に適切な遊びや生活の場を提供した。</p> <p>また、民間児童クラブに対し、放課後児童健全育成事業費補助金を交付した。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 子どもの家 33か所 利用時間 平日…放課後～午後7時 学校休業日…午前8時～午後7時 利用者 1,710名 民間児童クラブ 7か所 | D・E | A | 事業継続 | 子ども政策課 |
| | | <p>子どもの健やかな成長に向けて、安心して子育てができる環境を整備した。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 放課後なかよし教室の開設 設置教室数 市内小学校38校 対象児童 小学1年生から6年生(登録制 毎年更新) 活動日時 平日の授業終了から午後4時30分まで 登録者数及び登録率 2,978名 16.6% (平成27年3月末現在) | A・B D・E | A | 事業継続 | 学校教育課 |
| | ⑥子育て支援の人材養成と活用 | <p>講座や相談事業において、託児ボランティア養成講座受講者を託児者として活用した。</p> <p>受講者が安心して講座を受け易いよう、託児付講座を開催した。</p> | <p>受講者が託児ボランティアとして活動した回数 17回</p> <p>託児付き講座の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どものほめ方・叱り方のコツ 実施日 6月13日～6月27日(3回・金) 受講者 20名(女性20名)(延べ 51名) 託児数 16名(延べ 40名) 法律の基礎知識①離婚と子どもとお金 実施日 7月10日(木) 受講者 7名(女性7名)託児数 0名 心理学で女子力UP!～内面を磨いて魅力的な女性へ～ 実施日 9月20日～10月11日(4回・土) 受講者 26名(女性26名)(延べ 85名) 託児数 6名(延べ 14名) | D | A | 事業継続 | 男女共同参画課 |
| | | | | A・C D・E | A | 事業継続 | 男女共同参画課 |

| 施策 | 事業名 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|------------------|----------------|-------------------------------|--|------------|------|-----------------|---------|
| 27 子育て・保育サービスの充実 | ㊦子育て支援の人材養成と活用 | 受講者が安心して講座を受け易いよう、託児付講座を開催した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・採用されるには理由がある！～就職支援セミナー～ 実施日 10月15日、10月22日(2回・水) 受講者 8名(女性8名)(延べ 14名) 託児数 4名(延べ 7名) ・夫婦で子育てを10倍楽しむコツ 実施日 10月26日～11月9日(3回・日) 受講者 12名(女性7名、男性5名)(延べ 34名) 託児数 6名(延べ 14名) ・フラワーセラピー 実施日 11月8日(土) 受講者 20名(女性20名)託児数 2名 ・ボールペン字講座～文字を美しく書く～ 実施日 9月11日～9月25日(3回・木) 受講者 28名(女性24名、男性4名)(延べ 72名) 託児数 8名(延べ 22名) ・仕事に役立つ心理学 実施日 10月17日、10月24日(2回・金) 受講者 19名(女性17名、男性2名)(延べ 32名) 託児数 3名(延べ 3名) ・若さを保つ美姿勢に改善 実施日 11月22日～12月6日(3回・土) 受講者 21名(女性21名)(延べ 48名) 託児数 15名(延べ 34名) ・クリスマス用フラワーアレンジメント 実施日 12月21日(日) 受講者 12名(女性12名)託児数 1名 | A・C D・E | A | 事業継続 | 男女共同参画課 |

| 施策 | 事業名 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|------------------|----------------|--|--|-----------|------|-----------------|-------------|
| 27 子育て・保育サービスの充実 | ⑥子育て支援の人材養成と活用 | 受講者が安心して講座を受け易いよう、託児付講座を開催した。 | 実績なし | | C | 未定 | 東部市民センター |
| | | | ・ハワイを感じるやさしいハワイアンフラ 実施日 5月2日～5月23日(4回・金) 受講者数 延べ97名(女性97名) (託児 女児16名、男児8名) | A・E | A | 事業継続 | 中央公民館 |
| | | | ・クリスマスリース作り 実施日 11月5日、12日、19日(水) 受講者 14名(女性14名) (託児 女児3名、男児7名) ・クラフトテープでバッグを作る(初心者向き) 実施日 11月8日、15日(土) 受講者 15名(女性15名) (託児 男児1名) ・恋のスパイス入りチョコレートケーキ 実施日 2月14日(土) 受講者 15名(女性15名) (託児 女児3名、男児5名) | C・D E | A | 事業継続 | 坂下公民館 |
| | | | ・健康ヨーガ 実施日 5月12日～7月14日(6回・月) 受講者 46名(女性43名、男性3名) (託児 女児5名、男児1名) | A・C D | A | 事業継続 | 高蔵寺ふれあいセンター |
| | | 身近な地域での子育てに対する援助活動を進めるための「子育て支援グループリーダー養成講座」を開催した。 | ・子育て支援グループリーダー養成講座 実施日 6月4日～7月9日(6回) 午前10時～11時30分 受講者 18名(女性18名) | C・D | A | 事業継続 | 子育て子育て総合支援館 |

| 施策 | 事業名 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|------------------|-----------|---|---|-----------|------|-----------------|-------------|
| 27 子育て・保育サービスの充実 | ⑦子育て情報の提供 | 妊婦、子育て家庭の保護者等が利用することのできる各種行政サービス、子育て支援施設など、子育てに役立つ情報を体系的にまとめたガイドブックを作成した。 | 子ども政策課、児童館、地域子育て支援拠点を始め各出先機関のカウンターにて配布した。 | A・D E | A | 事業継続 | 子ども政策課 |
| | | 子育てで不安を抱えている保護者が意見や情報交換等を行った。 | ・子育て教室 年8回実施 時間 午前10時～正午 | B・D | A | 事業継続 | 子育て子育て総合支援館 |
| | | 機関誌の発行や広報、ホームページを活用し、育児・子育てに関する情報提供を行った。 | 【情報誌の発行】 ・保育課 「のびのびすくすく」毎月1回 年67,200部製作 ・子育て支援センター 「げんきっ子」4ヶ月に1回 年 3,300部製作 ・神屋子育て支援センター 「ひよこクラブ」4ヶ月に1回 年 1,800部製作 | E | A | 事業継続 | 保育課 |
| 28 育児相談・保健指導の充実 | ①育児相談の充実 | 子育ての不安や孤立感を解消するよう、乳幼児の子育てに関する相談体制の充実を図った。 また次世代育成支援ホームページを開設し、Eメールによる相談を行った。 | ・児童センター 毎週水曜日電話相談実施 延べ57件 ・春日井っ子みらいネット 相談件数 延べ15件 ・パパママ教室 513名 ・休日パパママ教室 850名 ・新生児訪問 903名 ・乳幼児健康相談 514名 ・歯っぴー歯科相談 139名 ・おやこ教室 390名 ・発達相談 157名 ・Uターン育児塾 56名 ※随時、電話相談も受け付けている | D・E | A | 事業継続 | 子ども政策課 |

| 施策 | 事業名 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|-----------------|---------------|---|---|-----------|------|-----------------|-------------|
| 28 育児相談・保健指導の充実 | ①育児相談の充実 | 子育ての不安や孤立感を解消するよう、乳幼児の子育てに関して相談を実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・育児相談(電話・面接) 受付 火～日曜日 時間 午前9時～午後7時 年間の相談件数 101件 (女性98件、男性3件) (電話 76件、面接 25件) | B・D | A | 事業継続 | 子育て子育て総合支援館 |
| | | 子育ての不安や孤立感を解消するよう、乳幼児の子育てに関して相談を実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・認可保育園公私立全園で子育てに関する相談を実施 月～金曜日 午前9時30分～午後4時 相談件数 電話40件(女性40名) 面接180件 (女性171名、男性9名) ・春日井市子育て支援センター 月～金曜日 午前9時～午後4時 相談件数 電話74件(女性71名、男性3名) 面接223件 (女性221名、男性2名) ・神屋子育て支援センター 月～金曜日 午前9時～午後4時 相談件数 電話35件(女性35名) 面接68件(女性68名) | E | A | 事業継続 | 保育課 |
| | ②子育て家庭訪問事業の実施 | 一定の研修を受けた訪問員「こんにちは赤ちゃん隊」が生後1～3か月の乳児のいる家庭を訪問し、子育てに関する情報提供や助言、相談を行い、支援の必要な人に対し保健師へつないだ。 | こんにちは赤ちゃん訪問 2,441件 | E | A | 事業継続 | 子ども政策課 |

| 施策 | 事業名 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|-----------------|-----------------|---|--|-----------|------|-----------------|--------|
| 28 育児相談・保健指導の充実 | ③地域療育等支援の充実 | 専門相談員による、発達障がい児に対する相談を実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業 <ul style="list-style-type: none"> 障がい者生活支援センターあつとわん <ul style="list-style-type: none"> 相談員 2名 相談者数 延べ612名 障がい者生活支援センターしゃきょう <ul style="list-style-type: none"> 相談員 4名 相談者数 延べ2,523名 障害児等療育支援事業 <ul style="list-style-type: none"> 実施回数 12回 実施内容 ケース検討会 6回 講演会 1回 グループ相談会 5回 | E | A | 事業継続 | 障がい福祉課 |
| | ④乳幼児に対する保健指導の充実 | 妊娠、出産、育児に不安をもつ妊産婦、父母への保健指導を充実し、母子保健の向上に努めた。 | <ul style="list-style-type: none"> 「男性応援講座の開催」Ⅱ-3-25-①参照 「育児相談の充実」Ⅲ-3-28-①参照 「子育て家庭訪問事業の実施」Ⅲ-3-28-②参照 | E | A | 事業継続 | 子ども政策課 |

課題4 介護を支える社会環境の整備

| 施策 | 事業名 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|-----------------------|----------------------|---|--|-----------|------|-----------------|-------|
| 29 介護サービス・介護予防サービスの推進 | ①介護保険制度やサービスの周知と利用促進 | 要介護状態の軽い段階での介護サービスの適正利用により、寝たきり等の予防と在宅での生活が維持できるよう支援した。 また、介護を社会全体で支え、担っていく意識をさらに推進するため情報提供を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> 介護保険制度への理解と利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ①要介護認定申請件数 11,197件 ②要介護認定者 11,183件 ③サービス利用者数 9,482件 ④認定者利用割合(③/②) 約84.8% インターネットや冊子による情報提供 介護相談事業への補助金交付 | E | A | 事業継続 | 介護保険課 |

| 施策 | 事業名 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|-----------------------|--------------|---|--|-----------|------|-----------------------------|-------|
| 29 介護サービス・介護予防サービスの推進 | ②介護予防サービスの充実 | 自ら食事の準備や調整を行うことが困難なひとり暮らしの高齢者等が、安否確認を兼ねた配食サービスを利用する際に必要とする経費の一部を助成した。 | <ul style="list-style-type: none"> 配食サービス利用助成 <ul style="list-style-type: none"> 利用世帯 514世帯 利用者数 592名 延べ配食数 85,104食 | D・E | A | 事業継続 | 高齢福祉課 |
| | | 高齢者等が要介護状態になることを予防し、自立した生活を継続できるように介護予防サービスの充実を図った。 | <ul style="list-style-type: none"> 介護予防サービスの充実 運動器の機能向上 (220回) <ul style="list-style-type: none"> 受講者 延べ2,230名 (女性1,440名、男性786名) 口腔機能の向上 (35回) <ul style="list-style-type: none"> 受講者 延べ361名 (女性207名、男性154名) 脳トレセミナー (46回) <ul style="list-style-type: none"> 受講者 延べ935名 (女性755名、男性180名) 口腔機能向上地域講座 (誤嚥予防セミナー) <ul style="list-style-type: none"> 受講者 延べ137名 (女性83名、男性54名) 介護予防活動支援事業 <ul style="list-style-type: none"> 延べ4,033名 (女性3,470名、男性563名) 介護予防講師派遣事業(33回) <ul style="list-style-type: none"> 延べ576名(女性551名、男性25名) | C・D E | A | 来年度の制度改正に合わせて、事業の内容を検討していく。 | 介護保険課 |

| 施策 | 事業名 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|-----------------------|----------------|---|---|-----------|------|---|-------|
| 29 介護サービス・介護予防サービスの推進 | ③地域支援体制の充実 | 認知症の人とその家族を応援する「認知症サポーター」を要請するため、指導者となる「キャラバン・メイト」を計画的に養成した。 また、住み慣れた地域で介護サービスを提供する施設の整備や要介護者やその家族への相談体制の充実を図った。 | <ul style="list-style-type: none"> ・キャラバン・メイト養成講座 受講者 38名(女性24名、男性14名) ・認知症サポーター養成講座 (50回) 受講者 延べ1,139名 (女性795名、男性344名) ・認知症徘徊・高齢者SOSネットワーク(かえりネット春日井) 高齢者登録103件 サポーター(個人・企業)264件 ・地域密着型サービス事業所指定状況(H27.4.1現在) 夜間対応型訪問介護 1事業所 認知症対応型通所介護 9事業所 小規模多機能型居宅介護 6事業所 認知症対応型共同生活介護 15事業所 地域密着型介護老人福祉施設 5事業所 ・地域包括支援センター運営事業 総合相談件数 34,039件 ・高齢者実態把握調査 6,080件 ・介護予防プラン作成 273件 ・介護予防教室 258回(延べ5,620名) ・介護相談員派遣件数 24施設(322回) | C・D E | A | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者総合福祉計画に基づき、地域密着型サービス事業の整備を行う。 ・平成28年4月から総合事業を開始するにあたり、総合相談業務や介護予防支援などを通して、地域のニーズ把握や資源の発掘を行う。 ・平成28年4月に小規模通所介護の指定権限が県から市へ移譲されることに伴い、介護相談員の派遣先の拡大を検討する。 | 介護保険課 |
| | ④家族介護支援サービスの推進 | 要介護等認定者を介護している家族等のさまざまなニーズに対応し、各種サービスを提供することにより、家族介護者の身体的・精神的・経済的負担の軽減を図った。 | <ul style="list-style-type: none"> ・介護者リフレッシュショートステイ 利用者 延べ5名(女性4名、男性1名) 利用日数 延べ14日 ・徘徊高齢者家族支援サービス 利用者 40名(女性24名、男性16名) | D・E | B | GPSを使用した徘徊高齢者家族支援サービスは平成26年度をもって廃止。 | 高齢福祉課 |

| 施策 | 事業名 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|---------------------|---------------------|---|---|-----------|------|-----------------|-------|
| 30 介護を担う人々の資質向上への支援 | ①介護サービス職員の資質向上の支援 | 介護サービス職員の資質向上を図るため専門知識を習得するための講習会を開催し、情報提供を行った。 | 様々なテーマの研修会を開催 15回開催 延べ参加人数 1,062名 | E | A | 事業継続 | 介護保険課 |
| | ②家族介護者の介護技術向上のための支援 | 家族介護者の介護技術向上のための支援を行った。 | ・ハートフルケアセミナーの開催 「男性の家事・育児・介護などのスキルアップ」Ⅲ-3-25-①参照 | C・E | A | 事業継続 | 高齢福祉課 |

目標Ⅳ 男女の性の理解と心身の健康のための環境づくり

課題1 男女が互いの性を理解し、尊重する環境づくり

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|-----------------------------|----------------------|---|--|-----------|------|-----------------------------|---------|
| 31 性に関する教育の充実 | ①エイズや薬物乱用防止に関する教育の充実 | 児童・生徒がエイズと薬物に関する正しい知識を身につけ、適切な行動がとれるよう教育を推進した。 | ・各学校で警察による指導等も含め、PTAも参加した形で、薬物乱用に関する学習を行った。 ・エイズ教育に対して発達段階に応じた指導を学校で実施した | B | A | 事業継続 | 学校教育課 |
| | ②性に関する教育の充実 | 各小中学校の児童生徒のそれぞれの学年に適した思春期教育を、学級活動や保健指導などを通して行った。 | 「リプロダクティブ・ヘルス/ライツの周知」IV-2-32-①参照 | C | A | 事業継続 | 学校教育課 |
| 32 リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する意識啓発 | ①リプロダクティブ・ヘルス/ライツの周知 | | 実施なし | C | | リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する講座を開催予定 | 男女共同参画課 |
| | | リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する意識が深まるよう、中学生・高校生からの相談を受ける指導者向け手引きを活用し、授業等で使用できる資料を作成した。 | ・「いのちの学習 指導案例集2014」の手引書を活用し、各小中学校における性教育を各学年の発達段階に応じて実施した。 ・授業実践を通して、小1～中3までの指導内容をすべて見直し、系統性のある性教育が実践できるよう改訂した。 | A・B E | A | 事業継続 | 学校教育課 |
| | ②不妊検査、治療への助成 | 不妊検査、治療への助成を行った。 | ・対象者 夫婦いずれかが市内に住所を有する期間に、保険適用外の人工授精に係る治療を受けたもの ・助成額 上限 50,000円 ・実績 141件 | D・E | A | 事業継続 | 子ども政策課 |

課題2 ライフステージに応じた健康づくりの支援

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|-----------------------|----------------|--|--|-----------|------|-----------------|--------|
| 33 心身の健康保持・増進のための環境整備 | ①妊娠出産期における健康支援 | | 実績なし | | C | 未定 | 健康増進課 |
| | | <p>女性の妊娠、出産など母性機能の社会的重要性の認識を深めるため、意識啓発をすすめるとともに、父親の積極的な子育ての参加を促進した。</p> <p>また、乳児健診の受診勧奨を進め、受診後のフォローアップや保健師・助産師による訪問指導の充実を図るとともに出産・育児に関する相談を充実した。</p> | <p>・「母と子のしおり」配布 配布数 3,519件</p> <p>【相談】</p> <p>・妊婦・産婦訪問 158件 ・新生児訪問 903件 ・未熟児訪問 223件</p> <p>※産後うつへのスクリーニングの目的で「エジンバラ質問紙」を実施した。 実施数 1,041件</p> <p>・乳児訪問 148件 (新生児・未熟児訪問除く)</p> <p>・4か月児健診未受診訪問 32件 ・1歳6か月、3歳児健診未受診訪問 44件</p> | E | A | 事業継続 | 子ども政策課 |

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|-----------------------|----------------|---|--|-----------|------|-----------------|-------|
| 33 心身の健康保持・増進のための環境整備 | ②心身の健康づくり事業の推進 | 誰もが気軽に参加し、楽しめるレクリエーションスポーツや健康づくり運動を推進し、心と体の健康増進を図った。 また、小中学校体育館及び武道場、高校の運動場を地域へ開放し、身近でスポーツに親しめる場の提供を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> レクリエーションスポーツ祭 実施日:6月8日(日) 場 所:総合体育館 参加者:2,970名 かすがい！スポーツフェスティバル 実施日:10月13日(祝) 場所:総合体育館、温水プール、落合公園体育館、市民球場 参加者:5,176名 学校体育施設の開放 小中学校体育館 53校 中学校武道場 15校 利用者数 延べ288,220名 高校運動場等 7校 利用者数 延べ987名 <p>スポーツ推進委員 64名(女性25名、男性39名、小学校区1～2名程度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ラジオ体操の日を制定 (毎年8月第1日曜日) ラジオ体操の日制定記念「ラジオ体操会」 実施日:8月3日(日) 場所:総合体育館運動広場 参加者:800名 | B・D E | A | 事業継続 | スポーツ課 |

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|-----------------------|----------------|---|--|-----------|------|-----------------|-------|
| 33 心身の健康保持・増進のための環境整備 | ②心身の健康づくり事業の推進 | ライフステージに応じた健康保持などに役立つ知識の普及と健康づくり意識の高揚を図る講座等を開催した。 | <p>【健康救急フェスティバル】 実施日：9月7日(日) 場所：総合体育館 参加者：6,762名</p> <p>【自殺予防啓発】 ①自殺予防街頭啓発キャンペーン(保健所共催) 実施日：9月9日(火) 場所：JR勝川駅 参加者：900名 実施日：平成26年3月24日(火) 場所：JR高蔵寺駅 参加者：600名</p> <p>②ゲートキーパ養成講座 (一般編)実施日：8月8日(金) 受講者：22名 (専門編)実施日：12月11日(木) 受講者：38名</p> <p>【市民健康づくり講座】 ①「ロコモについて学ぼう～動ける今からロコモ予防～」 実施日：9月21日(日) 受講者：53名(女性41名、男性12名) ②「胃がんにならないために～ピロリ菌や検診について知ろう～」 実施日：10月26日(日) 受講者：33名(女性23名、男性10名) ③「口腔機能の維持について～インプラントデンチャー ブリッジについて～」 実施日：11月9日(日) 受講者：28名(女性15名、男性13名) ④「良い睡眠で、からだも心も健康に～心身の疲れを解消するには～」 実施日：12月14日(日) 受講者：77名(女性45名、男性32名) ⑤「野菜ソムリエに学ぶ！野菜1日350gを簡単、おいしく食べるコツ」 実施日：平成27年1月25日(日) 受講者：36名(女性34名、男性2名)</p> | B・E | A | 事業継続 | 健康増進課 |

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|-----------------------|----------------|--|--|-----------|------|--|-------|
| 33 心身の健康保持・増進のための環境整備 | ②心身の健康づくり事業の推進 | ライフステージに応じた健康保持などに役立つ知識の普及と健康づくり意識の高揚を図る講座等を開催した。 | 【食生活改善事業】 ①男性の料理教室 実施日：7月5日(土)・11月8日(土) 受講者：合計39名 ②はつらつクッキング 実施日：7月10日(木)・10月29日(水) 受講者：合計38名 【パクパク健康教室】 実施日：5月22日(木)、7月9日(水)、9月12日(金)、11月27日(木)、平成27年1月8日(木)、3月23日(月) 受講者：98名 【こどもの健康教室】 実施日：7月23～25日(水・木・金) 受講者：合計71名 【巡回型食育啓発事業】 参加者：313名 【健康教育の充実】 ・集団健康教育 127回 受講者 延べ4,625名 | B・E | A | 事業継続 | 健康増進課 |
| | ③保健事業の基盤整備 | 健康管理センターや保健センターの事業を充実するとともに、心身の健康の維持・増進をめざし健康づくり事業を推進した。 | 総合保健医療センター 利用者 50,643名 ・休日・平日夜間急病診療 ・人間ドッグ ・脳ドッグ ・各種がん検診 ・骨密度検査 ・ヤング健診等 保健センター 利用者 30,760名 ・体力測定等の健康づくり事業 ・ヤング健診(集団)等 | C | A | 事業継続 総合保健医療センターの事業充実の一環として健康マイスター養成講座の開催など、新たな事業を進めるとともに人間ドッグ等の検診業務を実施する。 | 健康増進課 |

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|-----------------------|------------------|---|--|-----------|------|-----------------|-------|
| 33 心身の健康保持・増進のための環境整備 | (4)各種検診(健診)事業の推進 | 総合健診、がん検診、肝炎ウイルス検診、骨粗しょう症検診、動脈硬化検診、生活保護検診並びにヤング検診を実施した。平成21年度からは、女性特有のがん検診推進事業(国)を実施し「無料クーポン」を対象に配布している。検診には、健康管理センターと保健センターで実施する集団検診と、市内の医療機関で実施する個別検診があり、個別検診は、対象者に個別通知をした。 | 個別検診 ・胃がん 14,287名 (女性7,556名、男性6,731名) ・大腸がん 20,391名 (女性11,247名、男性9,144名) ・子宮がん 1,1063名 ・乳がん 12,279名 ・肺がん 23,924名 (女性13,432名、男性10,492名) ・前立腺がん 10,175名 ・肝炎ウイルス検診 2,313名 (女性1,232名、男性1,081名) ・生活保護検診 327名 (女性142名、男性185名) ・ピロリ菌検査 274名 (女性139名、男性135名) 妊婦健診 ・子宮頸がん 2,247名 集団検診 ・人間ドッグ 7,659名 (女性3,817名、男性3,842名) ・脳ドッグ 870名(女性453名、男性417名) ・乳がん 1,530名 ・子宮がん 989名 ・前立腺がん 3,095名 ・骨密度検査 2,648名(女性1,931名、 男性717名) ・ヤング健診 590名(女性463名、 男性127名) ・乳がんバス検診 399名 ・子宮がんバス検診 182名 | C・D | A | 事業継続 | 健康増進課 |

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|-----------------------|-----------------|--|---|-----------|------|--|---------|
| 33 心身の健康保持・増進のための環境整備 | ④各種検診(健診)事業の推進 | 市国民健康保険被保険者(40～74歳)に対し、メタボリックに着目した健診を実施し、健診結果に基づき、現在の健康状態についての情報提供や生活習慣等の改善のための支援を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診実施率 35.1%(18,415名) 女性37.5%(10,370名)、男性32.4%(8,045名) ・特定保健指導実施率 19.6%(367名) 女性21.2%(124名)、男性18.9%(243名) 平成25年度法定報告 | C | A | 事業継続 | 保険医療年金課 |
| | ⑤出産・育児に関する相談の充実 | 乳児健診の受診勧奨を進め、受診後のフォローアップや保健師・助産師による訪問指導の充実を図った。また、出産・育児に関する相談を充実した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健康相談 514件 「育児相談の充実」Ⅲ-3-28-①参照 「妊娠出産期における健康支援」Ⅳ-2-33-①参照 | E | A | 事業継続 | 子ども政策課 |
| 34 性差に考慮した相談体制の充実 | ①健康相談・保健指導の充実 | 心身の健康問題に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行った。 | <ul style="list-style-type: none"> ・重点健康相談(高血圧、糖尿病、歯周疾患、骨粗しょう症、病態別) 開催数 21回 延べ相談者数 61名 ・総合健康相談 開催数 6回 延べ相談者数 6名 | E | A | <ul style="list-style-type: none"> ・事業継続 ・ヤング健診保健指導はH26年度から健康管理事業団指定管理業務に変更した。 | 健康増進課 |
| | ②メンタルヘルス相談の充実 | 心の健康に関する情報の提供や気軽な相談を実施した。 | 【メンタルヘルス相談】 精神科医師による相談(面談) 第3火曜日(午後2時～4時) 16件(女性12名、男性4名) 臨床心理士による相談(面談) 第4水曜日(午後2時～4時) 15件(女性13名、男性2名) 精神保健福祉士等 随時 162件(女性134名、男性28名) | E | A | 事業継続 | 健康増進課 |

| 施策 | 事業 | 事業内容 | 平成26年度事業の実績 | 男女共同参画の視点 | 自己評価 | 平成27年度事業の内容・方向性 | 所管 |
|-------------------|----------------------------|---|--|-----------|------|-----------------|-------|
| 34 性差に考慮した相談体制の充実 | ③養護教諭、スクールカウンセラーなどによる相談の実施 | 各小中学校の児童生徒の発達段階にあった思春期教育を、学級活動や保健指導などを通して行った。 | <ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラー派遣 小学校10校、中学校10校 年間1校あたり96時間 ・心の教室相談員派遣 小学校38校に週3回程度 ・県スクールカウンセラー派遣 中学校15校、小学校10校を拠点に希望校巡回 ・養護教諭の複数配置校 勝川小学校、不二小学校、中部中学校、西部中学校、南城中学校 ・カウンセリング研修会 8月4日 ・カウンセリング技術研修会 平成27年1月21日(水) ・学校と保護者のかけはし事業 スクールソーシャルワーカー3名を配置 | D・E | A | 事業継続 | 学校教育課 |

新かすがい男女共同参画プラン実施状況報告書

—平成 26 年度事業実績・平成 27 年度事業予定—

発行 平成 27 年 7 月

編集 春日井市市民生活部男女共同参画課

〒486-0844 春日井市鳥居松町 2 丁目 247 番地

電話 0568-85-4401

FAX 0568-85-7890

E-mail danjo@city.kasugai.lg.jp

発行 春日井市